サイト

Xit

取扱説明書

くわしく知りたい項目をクリックしてください。

ご使用の前に

はじめて使うとき

テレビ

録画

再生

録画番組の管理

画面から調べる

設定一覧

困ったときは

総合目次

総合目次

トップへ

ご使用の前に

本書について 7
- 本書の構成
- 本書についての注意事項
- 商標

デジタル放送について 8
- デジタル放送の種類
- 地上デジタル放送の受信

使用上のご注意 9
- アプリケーションの使用制限
- パソコンの機能制限

はじめて使うとき

Xit の起動と終了 12
- スタート画面から起動する
- デスクトップ画面から起動する
- 終了する

初回設定 13
- Xit の初回設定

待機モードについて 16
- 待機モードとは？
- 待機モードにする
- 待機モードから復帰する

テレビ

テレビの基本操作 18
- 放送波・チャンネルを切り換える
- 番組の詳細情報を見る

映像・音声の切換 19
- フルスクリーンに切り換える
- 番組内の音声を切り換える
- 音声出力形式を変更する

字幕の表示 20
- 字幕を表示する

便利な使い方 21
- 視聴年齢制限を設定する

データ放送 22
- データ放送
- データ放送を見る
- データ放送の地域設定を変更する

番組表 24
- 番組表を表示する
- 最新の番組表を取得する
- 基本的な使い方
- 番組を検索する
- お好みのチャンネルだけを表示する

総合目次

トップへ

録画

録画 28
- 見ている番組を録画する｜手動録画
- 番組を指定して予約する｜番組表予約
- 日時を指定して予約する｜タイマー予約
- 条件にあてはまる番組を予約する｜おまかせ予約

録画の設定 31
- 画質を変更する
- 録画番組の保存先を変更する
- 放送時のデータ放送も録画する

予約の管理 33
- 予約を取り消す・編集する

こんなときは？ 34
- 録画できない場合
- 予約できない場合
- 指定した画質で録画されていない
- 予約した番組が遅延や延長したとき
- 予約が重なったとき
- 外付けハードディスクに録画するとき
- 繰り返し予約がタイマー予約に振り替えられる場合

再生

再生 38
- 再生をはじめる
- 再生中の操作
- スキップ再生
- ダイジェスト再生

再生の設定 40
- スキップ秒数を変更する
- ダイジェスト再生の時間を変更する

ホームネットワークでの共有（録画番組の配信） 41
- 共有に必要な準備
- ホームネットワーク上の機器で再生する
- ファイヤーウォールの設定

ワイヤレステレビ機能対応アプリ・Xit ワイヤレスとの接続 44
- Xit ワイヤレスと接続してできること
- Xit ワイヤレスで視聴や録画をするためには

録画番組の管理

録画番組の削除・保護・検索 46
- 録画番組を削除する
- 録画番組を保護する
- 録画番組を検索する

チャプターの設定 47
- チャプターとは？
- チャプターを設定する

書き出し 49
- 書き出せる番組について
- 対応メディアについて
- 必要容量の目安
- 録画番組を書き出す

録画情報管理ツール 53
- 録画情報管理ツールとは？
- 録画情報管理ツールを起動する
- 再生できなくなった番組を復元する
- すべての録画情報を削除する
- 録画番組の保存先フォルダを移動する

総合目次

トップへ

設定一覧

テレビ設定 56
- 地域 / チャンネルスキャン
- チューナー／アンテナ

視聴設定 57
- 音声出力
- 映像表示

録画 / 再生設定 58
- 再生
- ダイジェスト再生時間
- 保存先ドライブ
- 録画
- リアルタイム番組解析
- パソコン持ち出し再生
- 番組自動削除
- 録画情報管理ツール

データ放送設定 61
- 視聴地域
- 自動取得 / 双方向通信

詳細設定 62
- 視聴制限
- 通信
- 配信

詳細設定 63
- 動作履歴送信

番組表設定 64
- 番組表自動取得
- 番組サムネイル設定

お知らせ 65
- 放送メール
- CS ボード
- 受信機メッセージ

情報 66
- B-CAS カード
- バージョン

設定初期化 67
- 初期化

困ったときは

テレビが映らない 69
- 地上デジタル放送が映らない
- 地上デジタル放送の一部のチャンネルが映らない
- 地上デジタル放送の映像が乱れる・コマ落ちする
- BS・CS デジタル放送が映らない
- BS・CS デジタル放送の映像が乱れる・コマ落ちする

録画できない 71
- 録画に失敗する
- 録画予約に失敗する

エラーメッセージが表示される 72
- エラーメッセージ一覧

ご使用の前に

トップへ

知りたい項目をクリックしてください。

本書について

- 本書の構成
- 本書についての注意事項
- 商標

デジタル放送について

- デジタル放送の種類
- 地上デジタル放送の受信

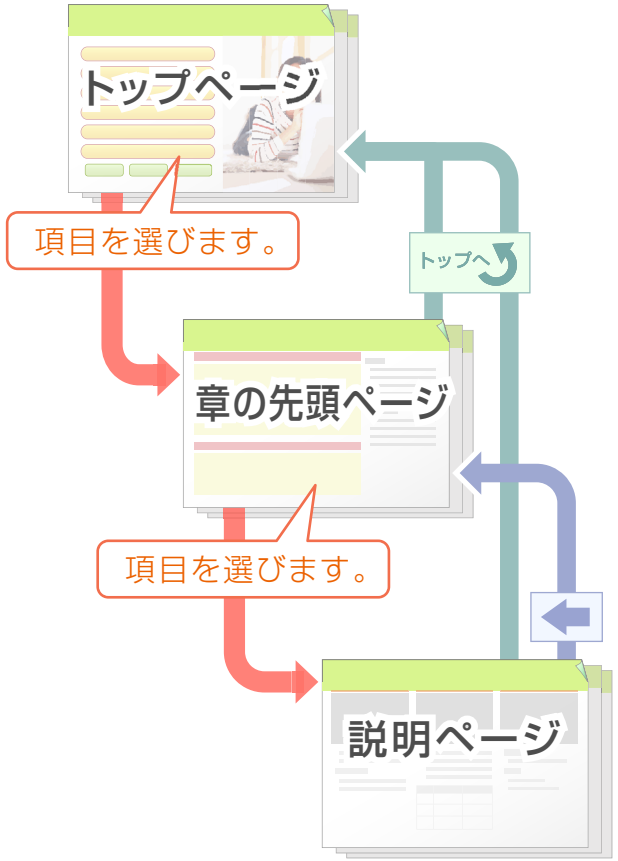
使用上のご注意

- アプリケーションの使用制限
- パソコンの機能制限

本書について

本書の構成

本書は PDF 形式の取扱説明書です。トップページから調べたい項目クリックしていくことで、対象の説明ページを開くことができます。また、ページ右上のアイコンをクリックすると、トップページまたは章の先頭ページに戻ります。



本書についての注意事項

- 本書では特に指定のない限り、「地上デジタル放送」「BS デジタル放送」「110 度 CS デジタル放送」をまとめて「デジタル放送」と表記します。
- Windows の基本的な操作については記載していません。Xit の操作は Windows の一般的な操作に準拠しています。
- 本書で使用しているアプリケーションの画面は、実際と異なる場合があります。また、番組の映像は、はめ込み合成です。
- パソコンの環境によっては、本書に記載されていても表示されない、または、操作できない項目があります。
- 本書の内容に関しては、将来予告なしに変更することがあります。
- 本書の内容の一部およびすべてを無断で転載することは禁じられています。
- 本書で使われているマークは以下の意味を示しています。

マーク	意味
	特に注意していただきたい内容です。
P.00	あわせて参考にしていただきたいページを案内しています。

商標

- Windows は、米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標です。
- Windows の正式名称は、Microsoft Windows Operating System です。
- "AVCREC" および "AVCREC" マーク は商標です。
  AVCREC
- SeeQVault および SeeQVault ロゴは、NSM Initiatives LLC の商標です。
- その他、記載されている各種名称、会社名、商品名などは各社の商標もしくは登録商標です。
- 本書では ® および ™ などの商標マークは省略しています。

デジタル放送について

デジタル放送の種類

デジタル放送には以下の 3 種類の放送波があります。

放送波	概要
地上デジタル放送	地上の無線局を通じて送信されるデジタル放送です。
BS デジタル放送	放送衛星（Broadcast Satellite）を使ったデジタル放送です。受信する場合は、対応のパラボラアンテナが必要です。また、一部のチャンネルは放送事業者との受信契約が必要です。
110 度 CS デジタル放送	通信衛星（Communication Satellite）を使ったデジタル放送です。 受信する場合は、専用のチューナー、パラボラアンテナ、および放送事業者との受信契約が必要です。

地上デジタル放送の受信

地上デジタル放送を受信する場合は、以下の条件が必要です。

■ UHF アンテナを設置していること

地上デジタル放送は UHF アンテナで受信します。ご自宅のアンテナが UHF の受信に対応していることを確認してください。

※ UHF アンテナを使用している場合でも、アンテナの向きによっては地上デジタル放送を受信できない場合があります。

※ ケーブルテレビの放送波をご利用の場合、UHF アンテナは不要です。ただし、ケーブルテレビの放送方式がパススルー方式の場合のみ受信できます。

使用上のご注意

アプリケーションの使用制限

■ B-CAS カードは常に挿入しておいてください

B-CAS カードが挿入されてなかったり、破損や汚損していると、放送を受信できなくなります。また、視聴中に B-CAS カードを抜きさしすると、映像が止まる場合があります。B-CAS カードは必要のない限り抜かないでください。また、抜きさしの必要があるときは、パソコンの電源を切ってから行ってください。

■ Xit を起動できない場合があります

以下のような場合は起動できません。

- 管理者または標準ユーザー以外のユーザーアカウントで使用しているとき。
- 他のユーザーが Xit を使用しているとき。
- リモートデスクトップから起動しているとき。

■ 複数のユーザーで同時に使用することはできません

すでに Xit が起動している状態で、別のユーザーアカウントで Xit を起動したときは利用できません。

■ 映像を表示できない場合があります

- 解像度が 1024 × 576 ピクセル未満のディスプレイはサポートしていません。
- 画面を縦長の向きにして使用した場合、表示の一部が画面からはみ出して、見えなかったり、操作できなかったりする場合があります。画面は横長の向きで使用することをおすすめします。
- マルチディスプレイで使用する場合、クローン接続しているディスプレイに映像は表示されません。
- マルチディスプレイで使用する場合、HDCP に対応していないディスプレイに映像は表示されません。

■ 映像が止まったり、コマ落ちする場合があります

- Xit の使用中に Windows Media Player（ウィンドウズメディアプレーヤー）などの他のアプリケーションが動作していると、音声が途切れたり、映像が正しく表示されないなど、正常に動作しない場合があります。また、その他の使用状況やシーンによっては、視聴時の映像がスムーズに表示されない場合があります。
- パソコンの性能によっては、録画番組の書き出し中に映像が止まったりコマ落ちする場合があります。
- 録画中の外付けハードディスクに対して、ファイルコピー等の負荷を与え続けると、録画番組の映像が止まったり、コマ落ちする場合があります。

■ 音声が変換される場合があります

デジタル放送の 5.1 チャンネル音声は、2 チャンネルのステレオ音声に変換（ダウンミックス）されます。

■ データ放送の一部のサービスが利用できない場合があります

データ放送の双方向サービスを利用する場合は、パソコンがインターネットに接続されている必要があります。また、録画番組の再生中に表示したデータ放送では、双方向サービスを利用することができません。

■ 緊急警報放送は受信できません

Xit はデジタル放送の緊急警報放送の受信に対応していません。

■ 番組の切れ目で視聴画面の映像が一瞬途切れます

2番組同時録画に対応している機種では、録画中の番組を視聴している場合に、前の番組と次の番組の切れ目で視聴画面の映像が一瞬途切れます。

■ 録画の前に確認してください

大切な録画を行う場合は、事前に試し録画をして、正しく再生できることを確認してください。本製品の使用中に発生した不具合、または本製品が使用不能になったことにより、録画・再生ができなくなった場合、その内容の補償およびそれに付随する損害に対して、弊社は一切の責任を負いかねます。

■ 停電などで、録画やハードディスクへの保存、書き出しが失敗することがあります

録画中に停電などで断電すると、録画や書き出しに失敗したり、ハードディスクから録画番組の一部、またはすべてが削除されたりするときがあります。この場合、録画番組の一部、またはすべてを再生できないことがあります。

■ 書き出せない番組があります

音声のみの番組やデータ放送のみの番組は書き出すことができません。

■ 正常に書き出せていない場合でも、書き出し可能回数が減ります

書き出しをキャンセルしたり、失敗した場合でも、書き出し可能回数が 1 回減ります。
ただし、SeeQVault デバイスへの書き出しの場合を除きます。

■ 書き出しに時間がかかる場合があります

パソコンの性能によっては、録画番組の書き出しに時間がかかる場合があります。

■ DVD への書き出しには対応ディスクとドライブが必要です

録画番組を DVD に書き出すときは、CPRM(Content Protection for Recordable Media)に対応したドライブとディスクが必要です。

■ ブルーレイへの書き出しには AACS キーが必要です

ブルーレイには、著作権保護のため AACS（Advanced Access Content System）というコンテンツ保護技術が採用されています。この技術によって暗号化されたデータを読み取るために、AACS キーが必要になります。Xit には AACS キーが搭載されていますが、AACS キーの有効期限が切れている場合は、ディスクへの書き出し時に自動的に更新します（インターネット接続が必要です）。また、一定期間を経過すると、更新が有料となり、購入サイトへの案内メッセージが表示されます。

■ SeeQVault デバイスへの書き出しには対応メディアと NSM キーが必要です

SeeQVault には、著作権保護のため NSM キーが必要になります。Xit は SeeQVault デバイスへの書き出し時に NSM キーを自動的にダウンロードします（インターネット接続が必要です）。

■ 著作権について

本製品で録画したものを、無断で複製、放送、上映、有線放送、公開演奏、インターネット配信、レンタル（有償・無償を問わず）、販売することは、法律により禁止されています。

パソコンの機能制限

■ 視聴・再生中はスクリーンセーバーが起動しません

Xit の視聴画面が表示されている間は、スクリーンセーバーが起動しません。

■ Windows がスリープや休止状態に移行しないときがあります

Xit が以下の状態のときは、タイマーによるスリープへの移行は実行されません。また、ワイヤレス書き出し中は、手動でスリープに移行できません。

- 放送・番組情報の受信中
- 録画中
- 再生中
- 書き出し中
- 編集ウィンドウの表示中
- ホームネットワークでの共有中

はじめて使うとき

トップへ

知りたい項目をクリックしてください。

Xit の起動と終了

- スタート画面から起動する
- デスクトップ画面から起動する
- 終了する

初回設定

- Xit の初回設定

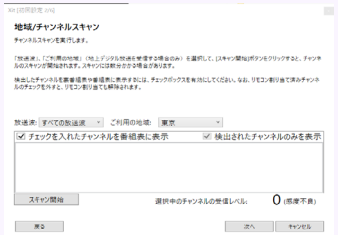
待機モードについて

- 待機モードとは？
- 待機モードにする
- 待機モードから復帰する

テレビを見るまでの流れ

1 Xit の起動

2 初回設定



3 完了

Xit の起動と終了

スタート画面から起動する

① Windows の [スタート]メニューをクリックします。

② 以下の項目を選択します。

PIXELA
▼
Xit

デスクトップ画面から起動する

① タスクトレイの ^ をクリックします。

② Xit のアイコンをダブルクリックします。

※ この起動方法は、Xit が待機モードのときだけ有効です。

待機モード　P.15

起動時の注意

はじめて起動するときは、管理者のユーザーアカウントで起動してください。また、はじめて起動したときは使用許諾契約書の画面が表示されます。内容を確認のうえ、[同意する]をクリックしてください。

終了する

① タスクトレイの ^ をクリックします。

② Xit のアイコンを右クリックして[アプリを終了する]を選びます。

※ 録画中、および予約録画が開始される 15 分以内は終了できません。

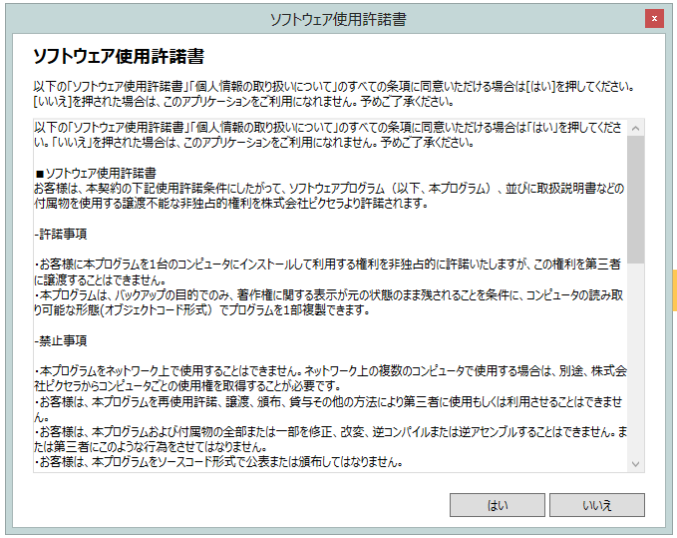
上記の方法で終了すると、録画予約の実行、および ワイヤレステレビ機能対応アプリ・Xit ワイヤレスで放送中番組の視聴ができません。録画予約がある場合、および Xit ワイヤレス を使用して放送中の番組を視聴する場合は、待機モードにすることで Xit の映像と音声を停止できます。

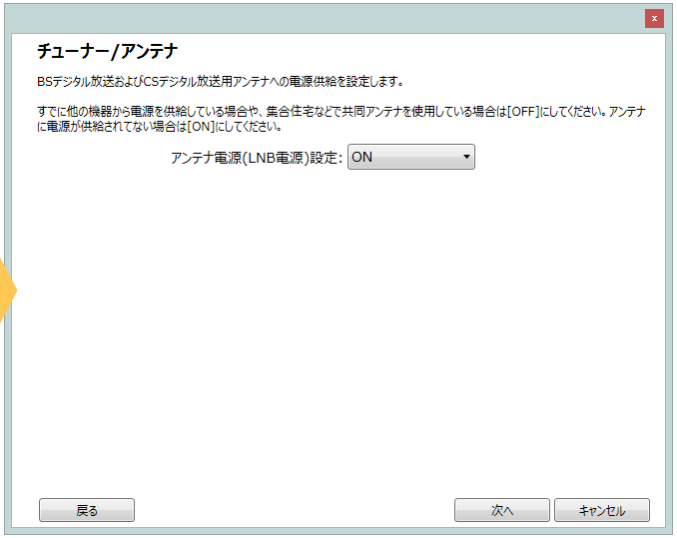
※ 本書では、ワイヤレステレビ機能対応アプリ・Xit ワイヤレス を Xit ワイヤレスと表記します。

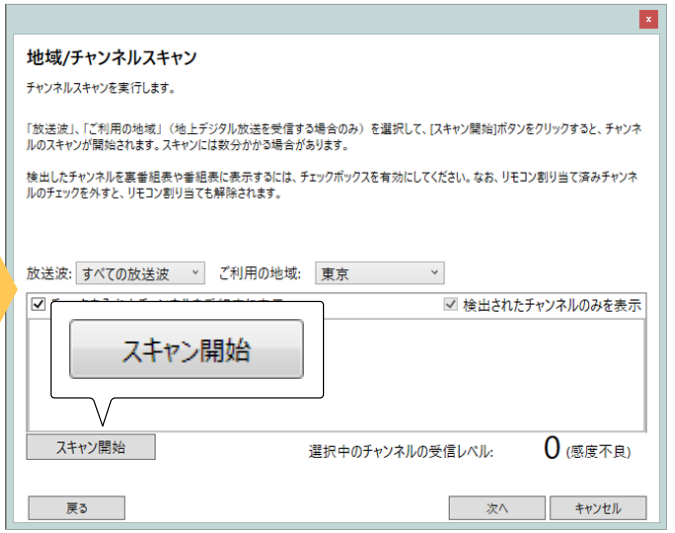
待機モード　P.15

初回設定

Xit の初回設定







② 使用許諾の内容を確認して、[はい]をクリックします。

- 同意いただけない場合は、Xit を利用することができません。

③ アンテナ電源の設定をします。

※ お使いの機種によっては、この画面が表示されない場合があります。表示されない場合は、次の画面に進んでください。

④ [次へ]をクリックします。

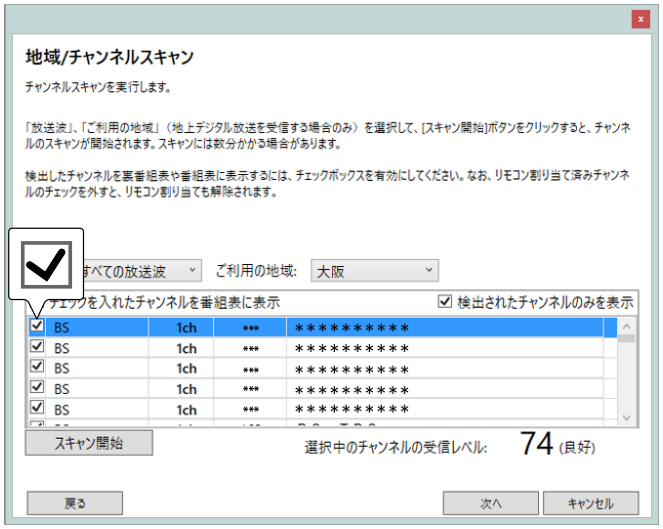
⑤ アンテナ線の接続と B-CAS カードの挿入を確認してください。

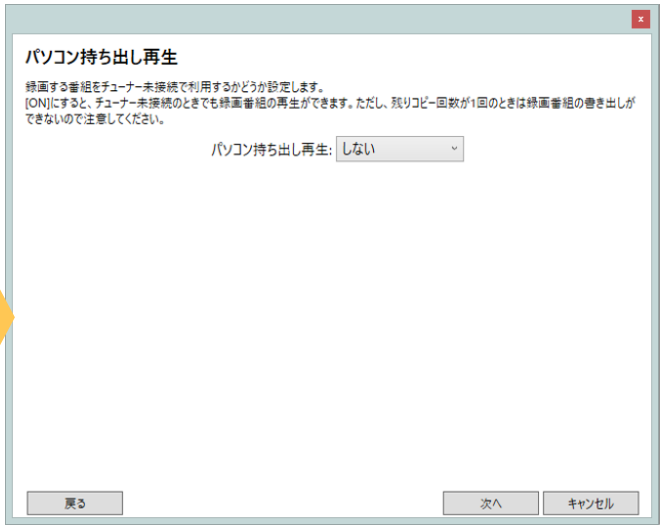
⑥ チャンネルスキャンを行います。

「放送波」「ご利用の地域」を選んで、［スキャン開始］をクリックします。

⑦ [スキャン開始] をクリックします。

➡ チャンネルスキャンが開始されます。スキャンには時間がかかる場合があります。





⑧ チャンネルスキャンが完了したら、視聴や録画をするチャンネルを選びます。

チャンネルスキャンの結果が表示されます。視聴や録画をするチャンネルにチェックを入れます。

⑨ [次へ] をクリックします。

⑩ 録画した番組をチューナー未接続で利用するかどうか (パソコン持ち出し再生) を設定します。

「する」に設定すると、チューナー未接続でも録画番組の再生ができるようになります。ただし、残りコピー回数が 1 回の時に、録画番組の書き出しができなくなります。

⑪ [次へ] をクリックします。

⑫ 動作履歴の許諾の内容に同意いただける場合は [ON]、同意いただけない場合は [OFF] を選択してください。

⑬ [次へ] をクリックします。

⑭ 視聴時や番組表の番組サムネイルを表示するかどうかを選択します。

[ON] にすると、番組サムネイルを取得するために、インターネットに接続します。

⑮ [次へ] をクリックします。

⑯ [OK] をクリックします。

➡ 以上で初回設定は完了です。

テレビの映像が出ないとき ⇒ P.66

ファイヤーウォールの設定

セキュリティソフトなどのファイヤーウォール機能を使用する場合は、以下を参考に設定してください。

項目	設定内容
プログラムファイル名	StationTV_X.exe RecordManageTool.exe STVXAnalyzer.exe STVXEditor.exe PxDMSConfig.exe
プロトコル／ポート番号	UDP／1900 TCP／49152 * TCP／50125 * デフォルトポート番号です。他のアプリーションと競合する場合は、上記ポート番号に 1 を足してください。

待機モードについて

待機モードとは？

Xit が視聴を停止して、タスクトレイに移動するモードです。待機モードのときは、番組表の情報収集などを行いながら録画予約の待機をします。

アイコン	状態
Xit	以下のいずれかの状態にあることを示します。 • 各画面表示中(視聴・再生時など) • 番組表情報取得中 • お知らせ受信中 • おまかせ予約処理中

アイコン	状態
Xit	以下のいずれかの状態にあることを示します。 • 録画中 • 予約録画の準備中 • 書き出し中 ※ このアイコンが表示されているときは Xit を終了できません。
Xit	Xit が待機モードであることを示します。
Xit	Xit ワイヤレス が接続し、放送中の番組を視聴している状態であることを示します。

待機モードにする

[視聴をやめる] をクリックします。

➡ 映像・音声の出力が停止して、Xit がデスクトップ画面のタスクトレイに格納されます。

ウィンドウ表示のときは、 をクリックしても待機モードになります。

待機モードから復帰する

① タスクトレイの をクリックします。

② Xit のアイコンを右クリックします。
ダブルクリックすると視聴画面で復帰します。

③ どの画面で復帰するかを選びます。

テレビ

トップへ

知りたい項目をクリックしてください。

テレビの基本操作

- 放送波・チャンネルを切り換える
- 番組の詳細情報を見る

映像・音声の切換

- フルスクリーンに切り換える
- 番組内の音声を切り換える
- 音声出力形式を変更する

字幕の表示

- 字幕を表示する

便利な使い方

- 視聴年齢制限を設定する

データ放送

- データ放送
- データ放送を見る
- データ放送の地域設定を変更する

番組表

- 番組表を表示する
- 最新の番組表を取得する
- 基本的な使い方
- 番組を検索する
- お好みのチャンネルだけを表示する

テレビの基本操作

放送波・チャンネルを切り換える

① [裏番組表] をクリックします。

➡ 裏番組表が開きます。

② 放送波を選びます。

③ 見たいチャンネルをクリックします。

イベントリレー

デジタル放送では番組が延長される場合、延長部分が別のチャンネルで放送されることがあります（イベントリレー）。この場合は、チャンネルを切り換えるかどうかのメッセージが表示されます。

視聴ランキング表示

視聴ランキングを裏番組表に表示します。この機能をお使いになるにはインターネットに接続している必要があります。

「今、どれくらいの人がその番組を視聴しているのか」が一目でわかる機能になります。「pt」は、数字が大きいほど多くの人が見ていることを示します。視聴ランキングの「pt」を確認することで、リアルアイムに人気番組がわかり、番組を選ぶ手助けになります。

現在選択されている放送波の中で pt が 1 位の番組は金の王冠、2 位の番組は銀の王冠、3 位の番組は銅の王冠がつきます。

データの収集と集計について

動作履歴の許諾で ON を選択いただいたユーザー様の視聴チャンネル情報を弊社（ピクセラ）サーバーで受信し集計したものになります。

番組の詳細情報を見る

[番組詳細] をクリックします。

➡ 番組の詳細画面が表示されます。

映像・音声の切換

フルスクリーンに切り換える

①[最大化] をクリックします。

最大化された状態で [最大化解除] ボタンをクリックするとウィンドウ表示状態に戻ります。

番組内の音声を切り換える

①[視聴設定] をクリックして、[音声]を選びます。

複数の音声が含まれていない番組では選択できません。

②お好みの音声を選びます。

音声種別（主音声／副音声／主音声＋副音声）が切り換わる場合や、言語が切り換わる場合など、番組によって切り換わる音声が異なります。

音声出力形式を変更する

パソコンの音声出力形式を切り換えます。

①設定画面を開いて、以下の項目を選択します。

視聴設定 ▼ 音声出力

②音声の出力形式を選びます。

音声出力　P.54

③[OK]をクリックします。

AAC の場合、以下の制限があります。

- 適用するには、一度待機モード(P.15)にしてください。
- パソコンに接続している音声機器が、AAC デジタル音声に対応している場合のみ設定できます。
- 音声機器のサンプリング周波数が 32kHz の場合は自動的に PCM に設定されます。
- Xit で音量の調整はできません。音量を調節したいときは、スピーカーの音量を調節してください。
- OS の PCM 音声には対応していません。
- 主 / 副 / 主 + 副の切り換えには対応していません。

字幕の表示

字幕を表示する

①[視聴設定] をクリックして、[字幕表示] を選びます。

字幕を含んでいない番組では選択できません。

②字幕の言語を選びます。

[オフ] を選ぶと字幕が非表示になります。

上記の設定を行っても、以下の場合は字幕が表示されません。

- 字幕を含んでいない番組を視聴している場合

便利な使い方

視聴年齢制限を設定する

年齢制限を設定した番組を視聴・再生しようとしたときに映像と音声を自動的に停止して、暗証番号の入力を求めます。

① 設定画面を開いて、以下の項目を選択します。

詳細設定
▼
視聴制限

② [新規暗証番号]に４桁の数字を入力します。

③ [(再入力)新規暗証番号]にもう一度、同じ数字を入力します。

④ [登録]をクリックします。

➡ 暗証番号が設定され、入力画面が表示されます。

⑤ 手順②で設定した暗証番号を入力して、[確定]をクリックします。

➡ [視聴年齢制限]のリストが選択できるようになります。

⑥ 年齢を選びます。

設定した年齢が番組の年齢制限よりも小さい場合、映像と音声の出力が停止され、暗証番号の入力を求められます。

⑦ [OK]をクリックします。

対象番組の録画について

視聴年齢制限の対象番組でも録画できます。ただし、再生時は、暗証番号の入力が必要です。

データ放送

データ放送

Xit はデータ放送に対応しています。

利用上の注意点

- データ放送の双方向サービスを利用する場合は、パソコンがインターネットに接続されている必要があります。
- 画面上のボタンを直接マウスクリックして操作することはできません。
- 録画番組でデータ放送を表示する場合、双方向サービスは利用できません。

データ放送を見る

① をクリックします。

データ放送の表示を終了するには、 をもう一度クリックしてください。

※ データ放送が表示されるまでに時間がかかる場合があります。

② をクリックしデータ放送操作パネルを開きます。

③ 目的に応じて操作します。

ボタン	操作
	上下左右のボタンで選択項目の移動をしたり、[決定] で選択している項目を実行をします。 「戻る」ボタンは 一つ前の画面に戻ります。
	選択項目が色ボタンに対応している場合に使用します。

データ放送の地域設定を変更する

データ放送で利用する地域の情報を変更します。

① 設定画面を開いて、以下の項目を選択します。

データ放送設定
▼
視聴地域

② [郵便番号]と[データ放送地域]を入力します。

③ [OK]をクリックします。

番組表

番組表を表示する

[番組表] をクリックします。

最新の番組表を取得する

[視聴をやめる] をクリックして、待機モードに移行します。

番組表の取得には、以下の時間がかかります。

- 地上デジタル：約 13 分
- BS デジタル：約 110 分
- CS デジタル：約 40 分

※ 電波の状況などで、多少時間がかかる場合があります。

※ 番組表は前回の取得完了時から 24 時間後に再取得されます。
再取得が中断された場合は、その 24 時間後に実行されます。

録画中は番組表を更新できません。

基本的な使い方

■ 時間帯・日付を変更する

番組表右端のスクロールバーをドラッグすると、時間帯を移動します。画面上段の [日付選択] で、表示する日付を選択できます。

■ 放送波・放送局を変更する

画面上段で目的の放送波（地上・BS・CS）を選んで、番組表下段のスクロールバーをドラッグします。

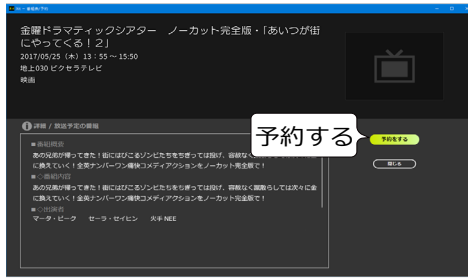
■ 表示を拡大／縮小する

サイズ切替で番組表の表示サイズを切り換えます。

■ 番組を予約する（クイック予約）

目的の番組を右クリックして、[クイック予約] を選びます。

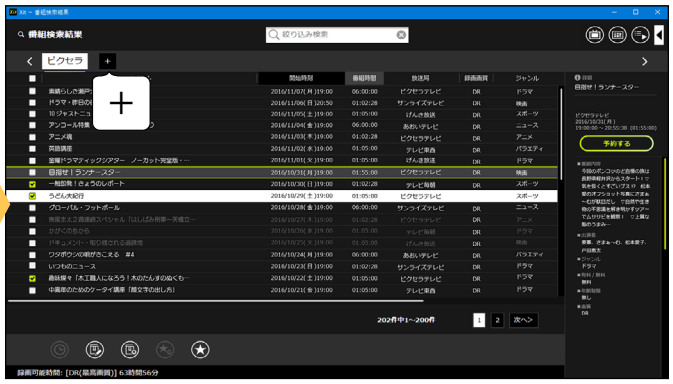
■ 番組の情報を表示する・予約する



目的の番組をクリックし、「詳細 / 番組表予約」を開きます。番組の詳細情報を確認したり、番組予約の登録ができます。

※ すでに予約登録されている番組の場合は、登録済みの予約の内容を変更することができます。また、すでにおまかせ予約で登録されている場合は [番組予約に切替] ボタンが表示され、クリックすると番組予約に切り換わります。

番組を検索する



① [番組検索] をクリックします。

➡ [番組検索結果] 画面が表示されます。

番組表が取得されていない場合は検索できません。

② 検索条件を追加します。

[+]をクリックします。

「詳細検索」画面が表示されます。キーワードや条件を入力して[検索する]をクリックしてください。

➡ 条件に該当する番組が表示されます。
検索条件は自動的に保存され、タブとして [番組検索結果] 画面に表示されます。次回からタブを選択して番組を検索できます。保存された検索条件は、[条件の編集] や [条件の削除] ができます。

※ 検索結果が表示されるまで、時間がかかる場合があります。

※ [条件の編集] で検索条件名を変更すると、新規の検索条件として保存します。

お好みのチャンネルだけを表示する

番組表に表示するチャンネルを選ぶことができます。

① 設定画面を開いて、以下の項目を選択します。

テレビ設定

▼

地域 / チャンネルスキャン

② 番組表に表示するチャンネルにチェックを入れます。

③ [OK]をクリックします。

録画

トップへ

知りたい項目をクリックしてください。

録画

- 見ている番組を録画する｜手動録画
- 番組を指定して予約する｜番組表予約
- 日時を指定して予約する｜タイマー予約
- 条件にあてはまる番組を予約する｜おまかせ予約

録画の設定

- 画質を変更する
- 録画番組の保存先を変更する
- 放送時のデータ放送も録画する

予約の管理

- 予約を取り消す・編集する

こんなときは？

- 録画できない場合
- 予約できない場合
- 指定した画質で録画されていない
- 予約した番組が遅延や延長したとき
- 予約が重なったとき
- 外付けハードディスクに録画するとき
- 繰り返し予約がタイマー予約に振り替えられる場合

録画

見ている番組を録画する｜手動録画

① をクリックします。

録画を開始するときにオフタイマーの指定ができます。

項目	機能
この番組終了まで	現在録画中の番組終了時に録画を停止します。
次の番組終了まで	次の番組の終了時に録画を停止します。録画する番組の開始前に録画を始めた場合などは、この設定にします。

② 録画を終了したいときは、 をクリックします。

どの録画を終了するかを選択できます。

※ すべてのチューナで録画をしているときは、録画中のチャンネル以外に切り替えることはできません。

番組を指定して予約する｜番組表予約

① 番組表を開きます。

番組表の表示　P.23

② 録画したい番組をクリックします。

番組表に情報が表示されない場合は、番組表を更新してください。

番組表の更新　P.23

③ 予約をする をクリックします。

予約設定ダイアログが表示されます。

イベントリレー

デジタル放送では番組が延長される場合、延長部分が別のチャンネルで放送されることがあります。この場合は、自動的にチャンネルを切り換えて録画を続行します。

※ 録画番組一覧では、番組が通常放送時間分と延長時間分の２つに分かれて表示されます。

※ 予約録画にも適用されます。

④ 予約の設定を変更します。

※ お使いのチューナーによっては、HX 以下の画質を指定した場合、他の録画と同じ時間帯で重複すると、いずれか一方の録画が自動的に DR に変更されます。DR で録画された番組は、録画番組一覧で「振替 DR」と表示されます。

⑤ [予約する]をクリックします。

➡ 以上で予約は完了です。

予約後に Xit を使用しないときは、待機モードにしておくと便利です。

待機モード　P.15

日時を指定して予約する｜タイマー予約

① [予約一覧] をクリックし、予約一覧を表示します。

② [タイマー予約] をクリックします。

タイマー予約設定ダイアログが表示されます。

③ 設定項目を変更します。

※ お使いのチューナーによっては、2番組を同時録画する場合、HX 以下の画質の録画が同じ時間帯で重複すると、いずれか一方の録画が自動的に DR に変更されます。

④ [予約する]をクリックします。

➡ 以上で予約は完了です。

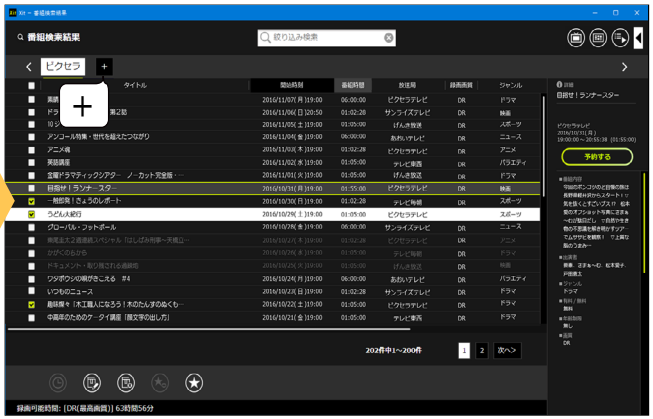
予約後に Xit を使用しないときは、待機モードにしておくと便利です。

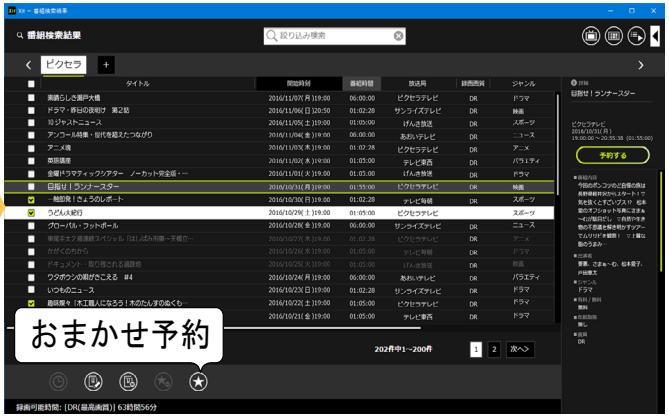
待機モード P.15

タイマー予約で録画された番組

録画番組一覧では、実際に録画された番組名が表示されます。録画時間が2つ以上の番組をまたぐ場合は、それぞれの番組に分割されます。

条件にあてはまる番組を予約する｜おまかせ予約





あらかじめ設定した条件にあてはまる番組を自動的にピックアップして録画します。

① [番組検索] をクリックします。

➡ 番組検索結果画面が表示されます。

すでに登録している検索条件で予約する

すでに登録済みの番組検索条件がある場合、「番組検索結果」画面で番組検索条件のタブを選択して [おまかせ予約] をクリックすると、その条件でおまかせ予約の登録ができます。

② 詳細条件を指定します。

[+] をクリックすると番組検索ダイアログが表示されます。キーワードや条件を検索して、[検索する] をクリックしてください。

➡ 条件にあてはまる番組が表示されます。

③ [おまかせ予約] をクリックします。

➡ 検索条件がおまかせ予約として登録され、その条件に当てはまる番組がおまかせ予約として登録されます。以降、番組表が更新されるたびに、条件にあてはまる番組の録画予約が自動的に登録されます。

おまかせ予約の制限事項

- 予約が登録されるまでに時間がかかる場合があります。
- 放送中および放送開始まで 2 分以内の番組は録画されません。
- 繰り返し録画の設定はできません。
- 別のおまかせ予約と時間帯が重複する番組は、最初に設定したおまかせ予約の番組が録画されます。
- おまかせ予約を個別に削除すると、削除された番組は別の条件に該当する場合でも登録されなくなります。
- おまかせ予約で録画した番組は、設定の［番組自動削除］(P.56) の条件にしたがって、古いものから順番に削除されます(保護された番組を除く)。
- 保存先ドライブの空き容量が 15.5GB を下回ると、古いおまかせ予約の録画番組から順番に削除されます(保護された番組を除く)
- おまかせ予約登録した検索条件を削除するとおまかせ予約も解除されます。

おまかせ予約の解除

[おまかせ予約解除] をクリックすると、おまかせ予約が解除されます。

※ 解除すると、すでに登録されているおまかせ予約も削除されます。

録画の設定

画質を変更する

録画の画質をあらかじめ指定しておくことができます。

※ 予約録画では、予約の設定時に個別に画質を変更することができます。

① 設定画面を開いて、以下の項目を選択します。

録画再生 ▼ 録画

② [DR 最高画質 | HX 高画質 | HS 長時間 | HL 超長時間1 | HE 超長時間2]

きれい ◀――▶ 長時間

画質が良いほど、録画可能時間が短くなります。また、DR 画質以外の画質モードを選択した場合、放送されている画質を圧縮して保存します。

※ お使いのチューナーによっては、2番組を同時録画する場合、HX 以下の画質の録画が同じ時間帯で重複すると、いずれか一方の録画が自動的に DR に変更されます。

③ [OK] をクリックします。

画質モードは、設定後に録画を開始した時点から適用されます。

※ 現在録画中の番組、すでに登録されている録画予約の画質モードは変更されません。

録画番組の保存先を変更する

保存先のドライブを設定します。複数のドライブを選択しておくと、録画中に容量が不足した場合でも、別の保存先に切り換えて録画を続行します。(リリーフ録画)

※ 外付けハードディスクを使用する場合は P.34 を参照してください。

① 設定画面を開いて、以下の項目を選択します。

録画 / 再生設定 ▼ 保存先ドライブ

② 使用するドライブにチェックを入れます。

録画番組が保存されているドライブのチェックをはずすと、保護した番組も含めて、録画番組がすべて削除されます。

③ [最初に使用する保存先ドライブ] を選択します。

比較的空き容量が多いドライブを選ぶことをおすすめします。

④ [OK] をクリックします。

保存先の変更は、すでに登録している録画予約にも適用されます。

※ 保存先を 3 つ以上指定していても、リリーフ録画の実行は 1 回だけです。

放送時のデータ放送も録画する

録画時にデータ放送を記録するかどうか設定できます。

① 設定画面を開いて、以下の項目を選択します。

録画 / 再生設定 ▼ 録画

② [データ放送保存] を [ON] にします。

③ [OK] をクリックします。

➡ 録画番組の再生時に、放送当時のデータ放送を表示できるようになります。

※ 双方向サービスを除きます。

※ 一部のチャンネルや、映像・音声のみのデータ放送番組は再生できない場合があります。

予約の管理

予約を取り消す・編集する

① [予約一覧] をクリックします。

➡ 予約一覧 画面が開きます。

② 予約を選びます。

予約の削除を行う場合、削除したい予約にチェックを入れます。

録画開始 30 秒前の予約は削除できません。

③ 目的の操作を実行します。

操作	機能
予約設定編集	予約の詳細画面を開いて、予約を編集します。 ※ 予約方法（番組表予約／タイマー予約／おまかせ予約）によって、変更できる設定項目が異なります。
削除	予約一覧でチェックのついた予約を削除します。 おまかせ予約の設定そのものを削除するときは、P.29 を参照してください。

こんなときは？

録画できない場合

以下の場合は録画できません。

- 天候の影響などで受信状況が悪い場合
- 録画しようとしている番組がコピー不可の番組や、有料放送で視聴契約を結んでいない番組の場合
- 保存先ドライブの空き容量が 5GB を下回った場合
  ※ リリーフ録画(P.55)設定時を除く
- 録画番組数が 10000 件を超えるとき
- スクリーンセーバーやスリープ状態からの復帰時にパスワードを求める設定にしていて、パスワードが入力されなかった場合。
- 録画中に、パソコンをスリープ、ログオフ、再起動、シャットダウンした場合

※ 一部のチャンネルや、映像・音声のみのデータ放送番組では録画しても再生できない場合があります。

※ Windows Update によるパソコンの再起動のため録画が失敗することもあります

エラーメッセージが表示されて録画できないとき

「キャプチャーボードに保存できる録画番組数の上限を超えるため、録画を中止しました。」というメッセージが表示されるときは、不要な録画番組を削除してください。

予約できない場合

予約の方法によっては、予約を登録できない場合があります。

予約の種類	予約できない原因
番組表予約	• 対象の番組がコピー不可または有料放送で視聴契約を結んでいない • 現在時刻が番組終了時刻まで 1 分 30 秒未満である • タイマー予約との合計予約数が 300 件を超えている
タイマー予約	• 開始時刻まで 1 分未満である • 開始時刻と終了時刻が同じである • 番組表予約との合計予約数が 300 件を超えている
おまかせ予約	• 予約数が 300 件を超えている • 予約登録時に、番組表に情報がない • おまかせ予約で使用している検索条件を削除している（すでに登録されているおまかせ予約も削除されます）

ユーザーアカウントの設定

スクリーンセーバーやスリープ状態からの復帰時にパスワードを求める設定にしている場合、パスワードが入力されるまで予約録画が実行されません。Windows のユーザーアカウントの設定は自動ログインにしておくことをおすすめします。

指定した画質で録画されていない

お使いのチューナによっては、HX 以下の画質での同時録画はできません。HX 以下の画質の録画が同じ時間帯で重複した場合、いずれか一方の録画が自動的に DR に変更されます。DR で録画された番組は、録画番組一覧で「振替 DR」と表示されます。

※ 録画済みの番組の画質モードを変更することはできません。

視聴中に HX 画質での録画が始まるとき

視聴中に HX 以下の画質での録画が開始されるときは、視聴が一時中断し、以下のメッセージが表示される場合があります。

- 「予約録画が実行されるため、視聴を一時中断しました。」

なお、すでに HX 以下の画質で録画中で、これから始まる録画も HX 以下の場合は、以下のメッセージが表示されます。

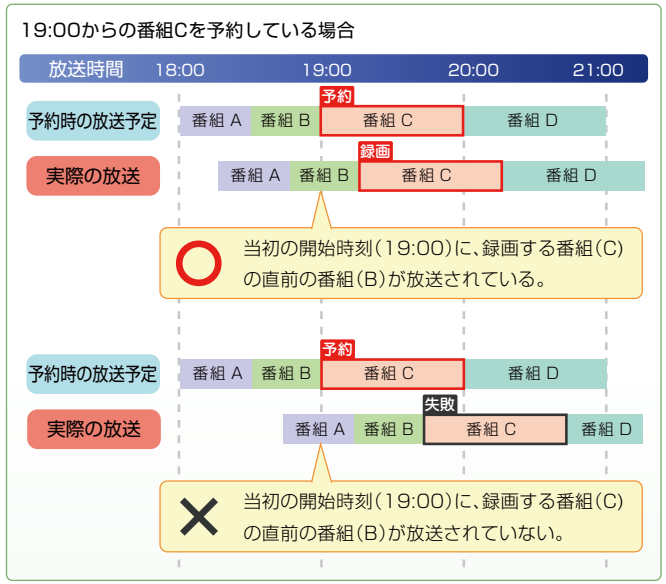
- 「HX 以下の画質での同時録画が選択されました。(「番組名」は)DR 画質に変更して録画を開始します。」

予約した番組が遅延や延長したとき

番組の遅延・延長には以下のように対応します。

■ 番組の開始が遅れた場合

遅れて開始される時刻に合わせて録画されます。ただし、予約時の開始時刻に、録画する番組の直前の番組が放送されている場合に限ります（下図）。



※ 最新の番組表で、当初の開始時刻から３時間以内に見つからない場合はキャンセルされます。

※ 番組表予約でくりかえし録画を設定している場合、タイトルの一部の文字列が同じ番組を予約時間の前後４時間で探して自動的に予約を変更します。

■ 番組が延長された場合

延長分も続けて録画します。イベントリレー（延長部分が別のチャンネルで放送される）の場合は、自動的にチャンネルを切り換えて録画を続行します。

予約が重なったとき

予約の時間帯が重複する場合は、以下の順番で予約が実行されます。

1. 番組表予約・タイマー予約
2. 手動録画
3. おまかせ予約

優先順位の同じ予約が重なる場合

以下の予約が優先されます。

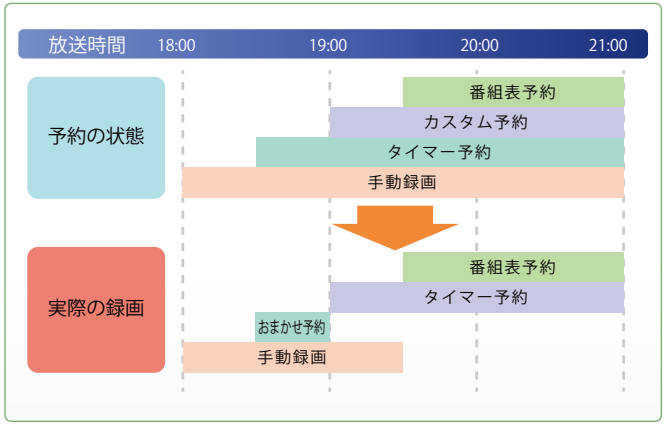
- 開始時刻が遅い方の予約
- 同時刻に開始される場合は、先に登録された予約

※ 番組の遅延によって予約の時間が変更になった場合でも、当初の予約設定にそって上記のルールが適用されます。

※ ２番組同時録画に対応する機種の場合、録画中の２番組のうち録画終了時刻の早い録画を停止します。同時に録画できる番組の数は機種によって異なります。

■ 例１：手動録画の途中で予約録画が始まったとき

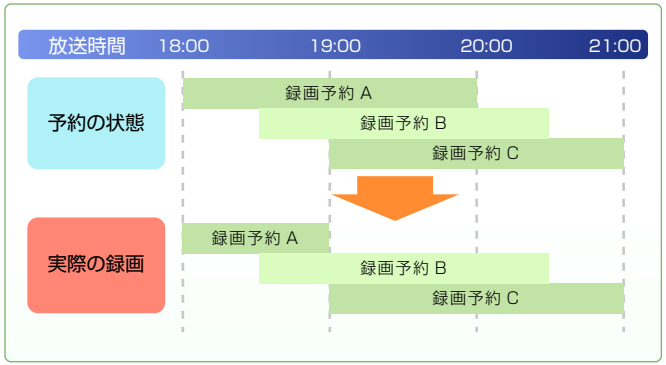
予約の種類の優先順位にしたがって予約が実行されます。



※ 上図は２番組同時録画に対応する機種の場合の例です。同時に録画できる番組の数は機種によって異なります。

■ 例２：優先順位の同じ予約が重複したとき

後からはじまる予約が実行されます。開始時刻が同じ場合は、先に登録された予約が優先されます。



※ 上図は２番組同時録画に対応する機種の場合の例です。同時に録画できる番組の数は機種によって異なります。

外付けハードディスクに録画するとき

外付けハードディスクを接続して、保存先ドライブの設定を変更します。

① 設定画面を開いて、以下の項目を選択します。

録画 / 再生設定
▼
保存先ドライブ

② 外付けハードディスクにチェックを入れます。

すでに録画番組が保存されているドライブのチェックをはずすと、保護した番組も含めて、録画番組がすべて削除されるので注意してください。

③「最初に使用する保存先ドライブ」で外付けハードディスクを選びます。

④ [OK] をクリックします。

対応の外付けハードディスク

NTFS 形式に初期化（フォーマット）された USB2.0 以上対応のハードディスクのみ使用できます。

※ 使用するハードディスクの転送速度が不足している場合、完全に録画できない場合があります。

※ 外付けハードディスクはパソコンに直接接続してください。USB ハブ経由で接続した場合、録画に失敗するなどの問題が発生することがあります。

※ 録画を開始する前に、外付けハードディスクが使用可能な状態になっているか確認してください。指定したドライブが録画開始時に使用可能でないときは録画できません。

※ 録画中の外付けハードディスクに対して、ファイルコピー等の負荷を与え続けると、録画番組の映像が止まったり、コマ落ちする場合があります。

繰り返し予約がタイマー予約に振り替えられる場合

繰り返し予約が実行される際、

- 番組表情報が更新されておらず、番組表情報がない場合
- 番組表情報が更新されており番組表情報は存在しているが、対象番組が見つからなかった場合

はタイマー予約に振り替えになり、予約一覧で「番組名【番組情報未取得】」と表示されます。

再生

トップへ

知りたい項目をクリックしてください。

再生

- 再生をはじめる
- 再生中の操作
- スキップ再生
- ダイジェスト再生

再生の設定

- スキップ秒数を変更する
- ダイジェスト再生の時間を変更する

ホームネットワークでの共有（録画番組の配信）

- 共有に必要な準備
- ホームネットワーク上の機器で再生する
- ファイヤーウォールの設定

ワイヤレステレビ機能対応アプリ・Xit ワイヤレスとの接続

- Xit ワイヤレスと接続してできること
- Xit ワイヤレスで視聴や録画をするためには

再生

再生をはじめる

① [録画一覧] をクリックします。

➡ 録画一覧画面が開きます。

② 再生する番組を選択し、[再生する] をクリックします。

前回視聴時の続きから再生します。現在録画中の番組は、録画が完了している部分まで再生できます。

再生中の操作

再生中の操作は操作パネルで行います。
画面をクリックすると表示され、視聴画面をクリックすると消えます。

ボタン	機能
	ドラッグすることで再生位置を変更します。
	停止中および一時停止中は再生を開始します。
	再生を一時停止します。
	再生を停止します。
	指定した秒数を前／後にスキップします。秒数も設定できます。(P.55)
	再生を早戻しします。押すたびに 2 倍／ 10 倍／ 60 倍／ 120 倍の速度に切り換わります。
	再生を早送りします。押すたびに 1.2 倍／ 1.5 倍／ 2 倍／ 10 倍／ 60 倍／ 120 倍の速度に切り換わります。 ※ 音声出力の設定が［AAC］のときは 1.2 倍速と 1.5 倍速が利用できません。

ボタン	機能
	番組の先頭／終端に移動します。 録画番組にチャプターが設定されている場合、一つ前 / 次のチャプターに移動します。
	放送時に配信されていたデータ放送を表示します。データ放送を録画していない場合は表示されません。
	録画番組の再生を終了し、放送中番組の視聴を始めます。

早見再生／ゆったり再生

早送りで 1.2 倍～ 2 倍速の間は、音声も出力されます (早見再生)。

再生中に をクリックすると、通常の 0.8 倍の速度で再生します (ゆったり再生)。もう一度クリックすると通常再生に戻ります。

※ 早見再生、ゆったり再生は音声出力の設定が PCM のときだけ使用できます。

スキップ再生

番組の本編だけを再生します。(初期設定の場合)

番組によっては、本編以外の部分も再生される場合があります。

① [録画一覧] をクリックします。

➡ 録画一覧画面が開きます。

② 再生する番組を選択し、[スキップ再生] をクリックします。

録画中の番組、音声のみの番組、データ放送のみの番組以外を選んでください。

リアルタイム番組解析とチャプター設定

スキップ再生はリアルタイム番組解析の設定（P.56）を[ON]にして録画した番組で利用できます。

また、チャプターを設定することで、お好みの場面だけを選んで再生することもできます。

※ 初期設定ではリアルタイム番組解析の設定は [ON] になっています。

チャプターの設定 P.44

ダイジェスト再生

スポーツ番組の見どころだけを抜き出して再生します。

以下の条件を満たす番組でのみ利用できます。

- 番組の「ジャンル」が「スポーツ」の番組
- リアルタイム番組解析(P.56)を[ON]にして録画した番組
- 録画が完了している番組

① [録画一覧] をクリックします。

➡ 録画一覧画面が開きます。

② 上記の条件を満たす番組を選んで右クリックします。

③ [ダイジェスト再生]を選びます。

ダイジェスト再生時間が 1 分未満になる場合は、通常再生になります。

ダイジェスト再生時間の設定 P.38

再生の設定

スキップ秒数を変更する

再生で をクリックしたときにジャンプする秒数を変更します。

① 設定画面を開いて、以下の項目を選びます。

録画 / 再生設定
▼
再生

② スキップする秒数を選びます。

③ [OK] をクリックします。

ダイジェスト再生の時間を変更する

ダイジェスト再生の再生時間を設定します。

① 設定画面を開いて、以下の項目を選びます。

録画 / 再生設定
▼
ダイジェスト再生時間

② 再生時間を選びます。

項目	再生時間
長い	全体の再生時間の約 50%
やや長い	全体の再生時間の約 30%

項目	再生時間
やや短い	全体の再生時間の約 10%
短い	全体の再生時間の約 5%

※ 上記は目安です。実際の再生時間は上記よりも短くなる場合があります。

ホームネットワークでの共有(録画番組の配信)

共有に必要な準備

ホームネットワークで共有することで、Xit で録画した番組を別のパソコンやテレビ、レコーダーで再生できます。

以下の準備が必要です。

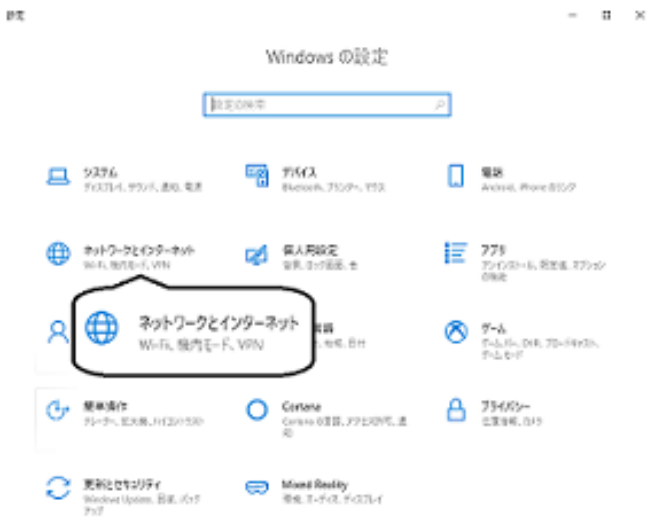
- Xit がインストールされているパソコンがインターネットに接続されていること
- 再生する側の機器がホームネットワークに接続されていること

※ 再生機器がホームネットワークに対応している必要があります。また、機器によっては、上記以外の設定が必要になる場合があります。くわしい設定や再生方法については、使用機器の取扱説明書を参照してください。

共有するときは以下の点に注意してください

- 再生とワイヤレス書き出し（P.54）を合わせて、最大 5 台の機器で同時に利用できます。ただし、ネットワーク環境によっては、複数の機器で再生できない場合があります。
- Xit が録画または書き出しをしている番組は再生できません。
- 音声のみの番組やデータ放送のみの番組は再生できません。
- スキップ再生はできません。
- サムネイル画像などの情報は表示されません。
- 他の機器が再生している番組は、Xit での書き出しおよび削除ができません。

ホームネットワーク上の機器で再生する



① [スタート]メニューをクリックします。

② [設定]を選択します。

③ [ネットワークとインターネット]をクリックします。

④ [接続プロパティの変更]をクリックします。

⑤ ネットワークプロファイルで、プライベートを選択します。

※ 上記の画面はイーサネットに接続されているときの例です。

➡ 以上のパソコン共有設定は完了です。引き続き、Xit の共有設定を行います。(次のページへ)

この設定は Windows OS のバージョンによって変更される可能性があります。

⑥ 設定画面を開いて、以下の項目を選びます。

詳細設定
▼
配信

⑦ [設定]をクリックします。

➡ Digital MediaServer 設定ツールが起動します。

⑧ 共有名を入力します。

配信される側の機器で表示される名称です。お使いのパソコンであることを識別できる名称をおすすめします。

⑨「コンテンツを共有する」にチェックを入れます。

※「状態確認中 ...」と表示されている間はチェックできません。

⑩ [適用]をクリックします。

➡「認証方法の確認」画面が表示されます。

⑪ インターネットへの接続方法を選んで [OK] をクリックします。

接続方法	説明
プロキシサーバーを使用しない	お使いのパソコンが直接インターネットに接続されている場合はこちらを選択してください。
Internet Explorer のプロキシ設定を使用する	内部ネットワークなどを使用していて、パソコンがプロキシサーバーを経由してインターネットに接続されている場合はこちらを選択してください。 Internet Explorer のプロキシ設定を使用してインターネットに接続します。

➡ ホームネットワークに接続している他の機器で Xit の録画番組を利用できるようになります。

※ 再生できない番組や使用上の制限が一部あります。くわしくは P.39 の「共有に必要な準備」を参照してください。

ファイヤーウォールの設定

セキュリティソフトなどのファイヤーウォール機能を使用する場合は、以下を参考に設定してください。

項目	設定内容
プログラムファイル名	PxDMSDaemon.exe
プロトコル／ポート番号	TCP ／ 50125 TCP ／ 50126 * デフォルトポート番号です。他のアプリケーションと競合する場合は、上記ポート番号に 1 を足してください。

※ Windows のファイヤーウォールは自動的に設定されています。

※ ポート番号とは、パソコンがデータの通信するときに、通信先のプログラムを特定するための番号のことです。

ワイヤレステレビ機能対応アプリ・Xit ワイヤレスとの接続

再生 トップへ

Xit ワイヤレス を使用して、ホームネットワークで共有されたパソコンに接続することができます。

Xit ワイヤレスと接続してできること

Xit ワイヤレスを使用して、ホームネットワークで共有されたパソコンに接続すると、視聴や録画の再生など、以下の機能をスマートフォンやタブレット、別のパソコンで使用できます。

- 放送中の番組の視聴
- 録画番組の再生
- 番組表の表示や検索
- 録画予約

Xit ワイヤレスで視聴や録画をするためには

以下を準備してください。

- ホームネットワークでの共有
  Xit の設定は、「ホームネットワーク上の機器で再生する」と同様に行えます。

ホームネットワーク上の機器で再生する P.39

- 再生する側の機器もホームネットワークに接続されていること

以下の点に注意してください

- 同時に接続できる機器の台数は 1 台です。複数の機器を接続することは、できません。
- Xit が書き出しをしている番組は再生できません。
- 放送中の番組の場合、視聴できるのは Xit が起動している場合だけです。
- Xit が完全に終了すると、Xit ワイヤレスで放送中の番組を視聴できません。
- 音声のみの番組やデータ放送のみの番組は再生できません。
- スキップ再生はできません。
- Xit ワイヤレスの設定は、各クライアント付属のヘルプを参照してください。
- 設定画面が開いている場合、放送中の番組を Xit ワイヤレスで視聴することはできません。
- Xit で録画している場合、放送中の番組を Xit ワイヤレスで視聴することはできません。

録画番組の管理

トップへ

知りたい項目をクリックしてください。

録画番組の削除・保護・検索

- 録画番組を削除する
- 録画番組を保護する
- 録画番組を検索する

チャプターの設定

- チャプターとは？
- チャプターを設定する

書き出し

- 書き出せる番組について
- 対応メディアについて
- 必要容量の目安
- 録画番組を書き出す

録画情報管理ツール

- 録画情報管理ツールとは？
- 録画情報管理ツールを起動する
- 再生できなくなった番組を復元する
- すべての録画情報を削除する
- 録画番組の保存先フォルダを移動する

録画番組の削除・保護・検索

録画番組を削除する

① [録画一覧] をクリックします。

➡ 録画一覧画面を表示します。

② 削除する番組にチェックをして、[削除]をクリックします。

以下の番組は削除できません。

- 保護がかけられた番組
- 録画中の番組
- 再生中の番組
- 書き出し中の番組
- チャプター設定のウィンドウを開いている番組
- ホームネットワーク上の他の機器で再生中の番組

録画番組を保護する

① [録画一覧] をクリックします。

➡ 録画一覧画面を表示します。

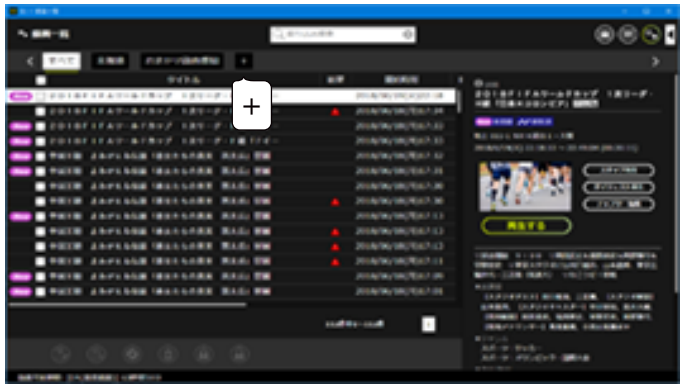
② 保護する番組にチェックして、[保護]をクリックします。

➡ 保護された番組には が表示されます。

保護を解除する

手順②で保護した番組を選んで［保護解除］をクリックします。

録画番組を検索する



① [録画一覧] をクリックします。

➡ 録画一覧画面を表示します。

② 検索条件を指定します。

すでに検索検索条件を登録済みのタブがある場合、タブを選択すると、その条件にあった録画番組が表示されます。

[+]をクリックすると、詳細検索画面が表示されます。キーワードや条件を入力して[検索する]をクリックしてください。

➡ 条件に該当する番組が表示されます。
リストで、検索した番組の順番を入れ替えることもできます。

※ 検索結果が表示されるまで、時間がかかる場合があります。

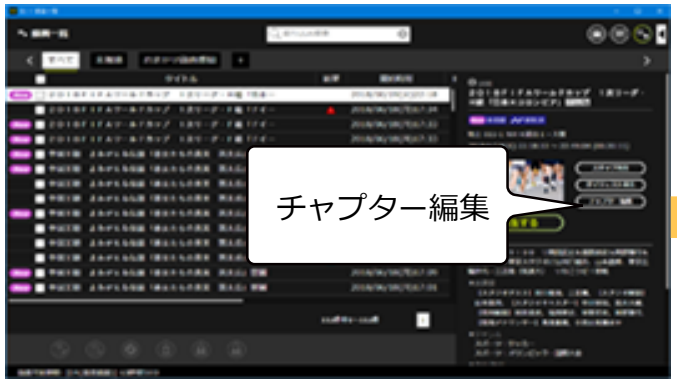
チャプターの設定

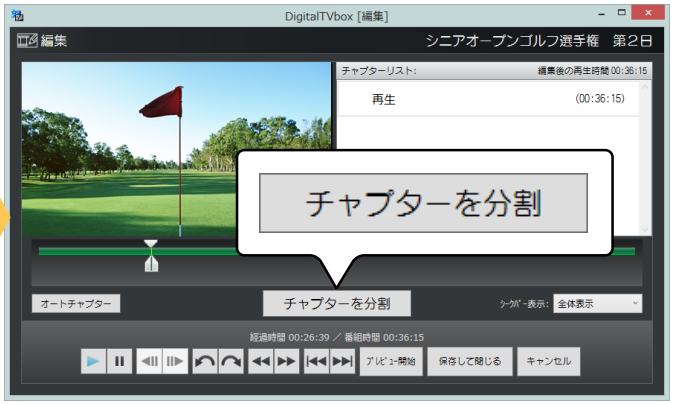
チャプターとは？

Xit では、録画番組の指定したシーンだけを再生したり、書き出したりすることができます。指定したシーンはチャプターと呼ばれ、再生や書き出しで使うかどうかを設定できます。

※ 初期設定（リアルタイム番組解析が［ON］の場合）で録画した番組は、番組の本編とそれ以外でチャプターが設定されています。

チャプターを設定する





チャプター設定の前に確認してください

- 音声出力形式の設定（P.54）が AAC のときは、PCM に変更してください。
- 設定中は Windows をスリープや休止状態にしないでください。編集内容が破棄される場合があります。

① ［録画一覧］をクリックします。

➡ 録画一覧画面を表示します。

② チャプターを設定する番組を選んで［チャプタ編集］をクリックします。

※ 音声のみの番組やデータ放送のみの番組は選べません。

➡ 編集ウィンドウが表示されます。

編集ウィンドウについて

編集ウィンドウの表示中はチャプター設定以外の操作ができなくなります。また、パソコンの性能によっては、反応が遅くなる場合があります。

③ チャプターのはじめの場面に移動します。

指定の位置まで再生して一時停止するか、スライダーを指定の位置にあわせます。

④ ［チャプターを分割］をクリックします。

番組の先頭・終端および直近の指定位置から 2 秒未満の位置ではクリックできません。

チャプターの設定

⑤ チャプターの終わりの場面に移動します。

⑥ [チャプターを分割]をクリックします。

番組の先頭・終端および直近の指定位置から 2 秒未満の位置ではクリックできません。

⑦ 必要に応じて、手順⑤～⑥を繰り返します。

前のチャプターの終点が次のチャプターの始点になります。

※ 1 番組につき最大 99 個まで設定できます。

チャプターの設定をやり直す

やり直したいチャプターを選ぶと、[チャプターを分割] ボタンが [前のチャプターと結合] に切り換わります。クリックすると、前のチャプターと結合されます。

⑧ 各チャプターを選んで、再生／スキップを設定します。

[スキップ] にしたチャプターは、再生や書き出しで除外することができます。

⑨ [保存して閉じる]をクリックします。

➡ チャプターが設定されます。スキップ再生やスキップ書き出しでは、チャプターの設定に基づいて再生・書き出しが行われます。

スキップ再生　P.37
スキップ書き出し　P.49

書き出し

書き出せる番組について

デジタル放送では著作権保護のため、番組ごとにコピー制限が設けられています。コピー残り回数を事前に確認してください。

① [録画一覧] をクリックします。

➡ 録画一覧画面を表示します。

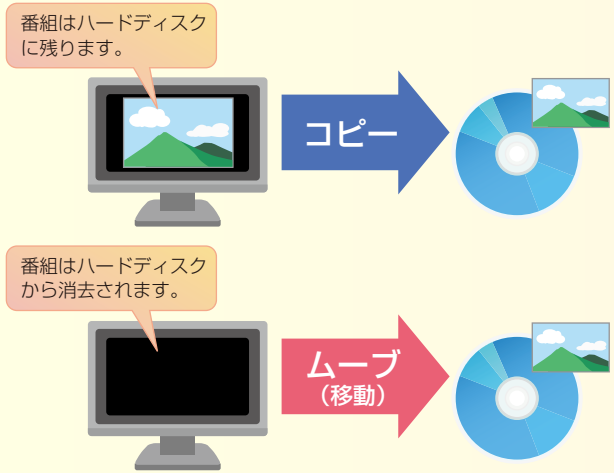
②「コピー残り回数」を確認します。

コピー残り回数が「1 回」になっている番組を書き出すと、書き出し終了後に録画番組が削除されます。

コピーとムーブ

書き出しには、コピーとムーブの２種類があります。以下の場合はムーブで書き出されます。

- コピーワンスの番組を書き出すとき
- ダビング 10 の番組で最後の 1 回を書き出すとき



対応メディアについて

以下のメディアに書き出せます。

メディアの種類		条件
DVD	DVD-R(SL, DL) DVD-RW DVD-RAM ※記録済みの DVD-R、書き込み保護が設定されている DVD-RAM は使用できません。	• CPRM 対応のディスクを使用してください。 • 録画番組の容量に加えて、200MB 以上の空き容量が必要です。 • DVD-R に書き込む場合は、ハードディスクに以下の空き容量が必要です。 ■ DVD-R(SL)：5GB ■ DVD-R(DL)：10GB • 複数の映像・音声を含む番組は、映像 1・音声 1 だけが記録されます。 • AACS キーの有効期限が切れている場合、インターネット接続が必要になります。
ブルーレイ	BD-R(SL, DL, XL) BD-RE(SL, DL, XL) ※書き込み保護が設定されている BD-RE は使用できません。	• 録画番組のファイル容量に加えて、200MB 以上の空き容量が必要です。 • AACS キーの有効期限が切れている場合、インターネット接続が必要になります。 • BD-R のフォーマットはできませんが、Xit やレコーダーで記録したディスクの場合は追記できます。
SeeQVault 対応 メディア	SD メモリーカード microSD メモリーカード SDHC メモリーカード microSDHC メモリーカード SDXC メモリーカード 外付け USB ハードディスク	• SeeQVault に対応したデバイスが必要です。 • NSM キーをダウンロードするためにインターネット接続が必要になります。 • メディアのフォーマットは NTFS、FAT32、exFAT に対応しています。 • メディアのフォーマットが FAT32 の場合は、1 番組につき最大 32GB まで書き出せます。 • スキップ書き出し(P.49)の機能は利用できません。 • 1 つのメディアに 10000 件を超える番組を書き出すことはできません。 • メディアのフォーマットによって、他の機器で認識できない場合があります。詳しくは、お使いの再生機器の取扱説明書をご確認ください。

必要容量の目安

使用するディスク、ディスクのフォーマット形式、録画または書き出し時の画質、データ放送の録画の有無によって必要容量が変化します。

DVD				ブルーレイ		SeeQVault	
DVD-VR 形式		AVCREC 形式					
書き出し時の画質	1 時間あたり	録画時の画質	1 時間あたり	録画時の画質	1 時間あたり	書き出し時の画質	1 時間あたり
XP(高画質)	約 3.8GB	HX(高画質)	約 4.1GB	DR(最高画質)	※ 2	録画時の画質	録画時の画質によって異なります。 DR(最高画質) ※ 2 HX(高画質) 約 4GB HS(長時間) 約 2GB HL(超長時間 1) 約 1.1GB HE(超長時間 2) 約 760MB
SP(標準)	約 2.0GB	HS(長時間)	約 2.2GB	HX(高画質)	約 4.1GB		
LP(長時間)	約 1.1GB	HL(超長時間 1)	約 1.1GB	HS(長時間)	約 2.2GB		
ぴったり	※ 1	HE(超長時間 2)	約 765MB	HL(超長時間 1)	約 1.1GB	高画質	約 3GB
				HE(超長時間 2)	約 765MB	標準画質	約 1.5GB
						モバイル向け画質	約 1GB

※1　ディスクの空き容量の範囲内で記録できる最高画質になるため、ディスクの空き容量によって異なります。最高で XP、最低で LP の画質となります。

※2　録画する放送波によって異なります。以下を目安にしてください。

BS/CS デジタル放送(ハイビジョン)　約 10.5GB　　地上デジタル放送(ハイビジョン)　約 7.5GB

BS/CS デジタル放送(標準)　約 4.8GB　　地上デジタル放送(標準)　約 3.5GB

録画番組を書き出す

①[録画一覧] をクリックします。

➡ 録画一覧画面を表示します。

②録画番組一覧で書き出したい番組にチェックを入れて [書き出す] をクリックします。

書き出し順の設定を行うことができます。書き出しリストで順番を入れ替えたい番組を選択し、[↑][↓] ボタンで順番を入れ替えてください。

➡ 書き出しの設定ウィンドウが表示されます。書き出しの設定ウィンドウが表示されている間、[書き出す] ボタンは [追加] にかわります。書き出したい番組を追加する場合は、録画番組にチェックをして [追加] をクリックしてください。

③書き出し先にメディアをセットします。

➡ メディアが認識されるまでしばらくお待ちください。

SeeQVault 対応メディアは Xit が対応している形式にフォーマットしておく必要があります。フォーマット方法については、使用するメディアの取扱説明書をご確認いただくか、Windows の機能を使ってフォーマットしてください。
注意：Windows の機能を使ってフォーマットすると、メディア内のすべてのデータが削除されます。

対応メディア　P.47

④「書き出し先ドライブ」を選びます。

⑤「フォーマットする」「フォーマット形式」を選びます。

書き出し先ドライブで選択したメディアがフォーマットできる場合、この項目をチェックすると書き出す前にメディアをフォーマットします。

DVD/BD の場合、メディア内のすべてのデータを削除します。SeeQVault メディアの場合、メディア内の録画番組をすべて削除します。

フォーマットする場合で、DVD に書き出すときは、ディスクのフォーマット形式を選べます。

形式	特徴
DVD-VR 形式	AVCREC 形式に比べて画質が下がりますが、幅広いプレーヤーで再生できます。
AVCREC 形式	ハイビジョン画質をそのまま記録できますが、再生には AVCREC 形式に対応した機器が必要になります。

書き出し

⑥ [書き出し画質] を選びます。

SeeQVault メディアに書き出す場合

「録画時の画質」「高画質」「標準画質」で書き出した場合、お使いの携帯端末によって再生できない場合があります。その場合「モバイル向け画質」で書き出してください。携帯端末での再生に適したサイズに圧縮して書き出します。ただし、書き出しに時間がかかります。

⑦ [スキップ書き出し] を設定します。

リアルタイム番組解析の設定（P.56）を［ON］にして録画した番組では、「スキップ書き出しを行う」にチェックを入れると、番組の本編だけが書き出されます。また、チャプターを設定することで、指定した区間だけが書き出されます。

※ 初期設定ではリアルタイム番組解析の設定が［ON］になっています。

チャプターの設定　P.44

SeeQVault メディアの場合、スキップ書き出しの設定は選択できません。

⑧ [書き出し開始]をクリックします。

⑨ メッセージを確認して[はい]をクリックします。

➡ 書き出しの進捗を表すダイアログが表示され、書き出し完了までの残り時間が表示されます。

ディスクが 2 枚以上必要なときは、1 枚目の書き出し完了後にメッセージが表示されます。メッセージの指示にしたがってディスクを入れ換えてください。

書き出し中はパソコンをスリープ・休止状態にしたり、ログオフ・再起動・シャットダウンをしないでください。書き出しに失敗する場合があります。

※ 書き出しをキャンセルするときは、タスクトレイの Xit アイコンを右クリックして、[書き出しをキャンセルする] を選んでください。

※ 書き出しに失敗したり、キャンセルしても、書き出し可能回数は 1 回減ります。ただし、SeeQVault デバイスへの書き出しの場合を除きます。

録画情報管理ツール

録画情報管理ツールとは？

Xit と一緒にインストールされるアプリケーションです。主に、以下のような場合に使用します。

- パソコン環境の変更などにより、これまでに録画した番組が再生できない場合
- 保存先ドライブの録画番組を別のドライブに移動したいとき

録画情報管理ツールでは目的に応じて、以下の操作を行います。

項目	機能
復元開始	OS のリカバリやディスクイメージの復元後に再生できなくなった録画番組を元に戻します。 ⇒ 再生できなくなった番組を復元する（P.51）
録画情報削除	パソコンに保存されている録画番組と、キャプチャーボードに記録されている録画情報データのすべてを削除します。 ⇒ すべての録画情報を削除する（P.51）
録画情報移動	録画番組の保存先ドライブにあるすべての録画番組データを別のドライブに移動します。 ⇒ 録画番組の保存先フォルダを移動する（P.51）

録画情報管理ツールを起動する

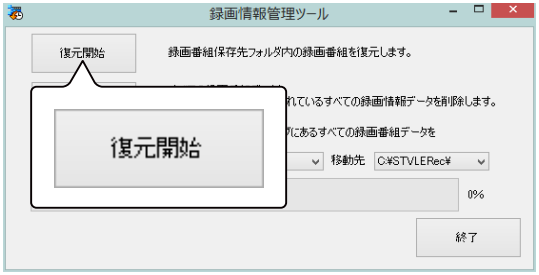
① 設定画面を開いて、以下の項目を選びます。

録画 / 再生設定
▼
録画情報管理ツール

➡ **Xit が終了し、録画情報管理ツールが起動します。**

※ 録画中および予約録画が開始される 15 分以内、書き出しウインドウ表示中は終了できません。また、録画情報管理ツール起動中は予約録画が実行されません。録画予約がないか事前に確認してください。

再生できなくなった番組を復元する

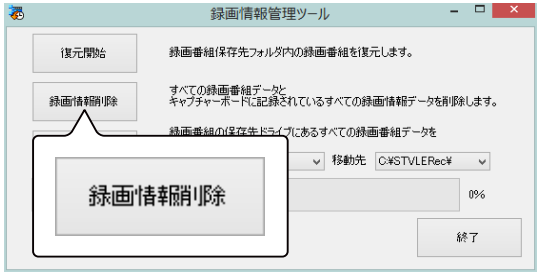


OS のリカバリやディスクイメージの復元後に、録画番組が再生できない場合は、録画情報を復元してください。

[復元開始]をクリックします。

➡ 録画情報の復元が開始されます。

すべての録画情報を削除する



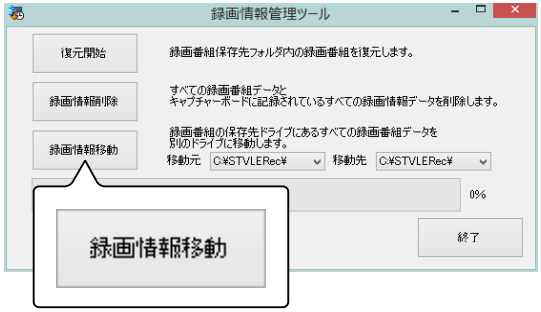
保存先フォルダ内のすべての録画番組とキャプチャーボードに記録されているすべての録画情報を削除します。

① [録画情報削除]をクリックします。

② 表示されるメッセージの内容を確認して［はい］をクリックします。

➡ 録画情報の削除が開始されます。

録画番組の保存先フォルダを移動する



保存先フォルダ内の録画番組を別のフォルダに移動するときは、録画情報管理ツールで行います。

※ Windows 上でファイルを直接移動させると再生できなくなります。

①「移動元」のリストで現在の保存先フォルダを選びます。

②「移動先」のリストで新しい保存先フォルダを選びます。

③ [録画情報移動]をクリックします。

設定一覧

トップへ

知りたい項目をクリックしてください。

テレビ設定

- 地域 / チャンネルスキャン
- チューナー／アンテナ

視聴設定

- 音声出力
- 映像表示

録画 / 再生設定

- 再生
- ダイジェスト再生時間
- 保存先ドライブ
- 録画
- リアルタイム番組解析
- パソコン持ち出し再生
- 番組自動削除
- 録画情報管理ツール

データ放送設定

- 視聴地域
- 自動取得 / 双方向通信

詳細設定

- 視聴制限
- 通信
- 配信

詳細設定

- 動作履歴送信

番組表設定

- 番組表自動取得
- 番組サムネイル設定

お知らせ

- 放送メール
- CS ボード
- 受信機メッセージ

情報

- B-CAS カード
- バージョン

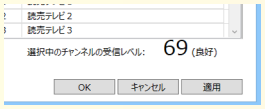
テレビ設定

地域 / チャンネルスキャン

受信するチャンネルの設定です。引越しなどで受信する地域が変わったときなどに行います。

受信レベルの確認

スキャン後に、表示されているチャンネルを選択すると、そのチャンネルの受信レベルを確認できます。



チューナー／アンテナ

衛星放送のチューナーに電源を供給するかどうかを設定します。[ON] にすると、Xit の起動中はアンテナに電源を供給します。

視聴設定

音声出力

音声の出力方法の設定です。

音声出力形式

出力する音声の形式を選びます。

項目	内容
AAC	音声形式を AAC 形式にして出力します。
PCM （ダウンミックスあり）	音声形式を PCM 形式にして出力します。5.1ch（サラウンド）の音声を 2ch（ステレオ）に変換して出力します。

項目	内容
PCM （ダウンミックスなし）	音声形式を PCM 形式にして出力します。5.1ch（サラウンド）の音声をそのまま出力します。

AAC の場合、以下の制限があります。

- パソコンに接続している音声機器が、AAC デジタル音声に対応している場合のみ設定できます。
- 音声機器のサンプリング周波数が 32kHz の場合は自動的に PCM に設定されます。
- DigitaTVbox で音量の調整はできません。音量を調節したいときは、スピーカーの音量を調節してください。
- OS の PCM 音声には対応していません。
- 主 / 副 / 主 + 副の切り換えには対応していません。

映像表示

映像の表示方法の設定です。

デコード方式

映像のデコード方法を選びます。

項目	内容
自動	お使いの環境に最適のデコード方式を自動で選択します。
ハードウェア（DXVA）	ハードウェアの支援機能（DXVA）を使って映像をデコードします。

項目	内容
ソフトウェア	ソフトウェアで映像をデコードします。映像の表示は HD 画質で表示します。
ソフトウェア（ダウンスケール）	ソフトウェアで映像をデコードします。映像の表示は SD 画質で表示します。

録画 / 再生設定

再生

再生時の操作についての設定です。

順スキップ幅／逆スキップ幅

再生中のスキップ操作で何秒スキップするかを設定します。

ダイジェスト再生時間

ダイジェスト再生の設定です。

ダイジェスト再生時間

ダイジェスト再生の再生時間を設定します。

項目	再生時間
長い	全体の再生時間の約 50%
やや長い	全体の再生時間の約 30%
やや短い	全体の再生時間の約 10%
短い	全体の再生時間の約 5%

※ 上記は目安です。実際の再生時間は上記よりも短くなる場合があります。

ダイジェスト再生 P.37

保存先ドライブ

録画番組の保存先の設定です。

保存先ドライブ設定

保存先にするドライブにチェックを入れます。(複数選択可)

録画番組が保存されているドライブのチェックをはずすと、保護した番組も含めて、録画番組がすべて削除されます。

最初に使用する保存先ドライブ

2 つ以上のドライブを保存先にする場合、一番先に使用するドライブを指定します。

リリーフ録画

指定した保存先ドライブがいっぱいになったときに、自動的に保存先ドライブを切り換えて録画を続けます。2 つ以上のドライブを指定しておいてください。

※ 1 回の録画につき、リリーフ録画は一度だけ実行されます。

録画

録画の設定をします。

データ放送保存

[ON] にすると、録画中に提供されているデータ放送を記録して、再生時に見ることができます。

※ 双方向通信などの一部のサービスは利用できません。

画質モード

録画および視聴の画質を設定します。

※ すでに録画中の番組には適用されません。

※ 2番組同時録画に対応している機種では、2番組を同時録画する場合、HX 以下の画質の録画が同じ時間帯で重複すると、いずれか一方の録画が自動的に DR に変更されます。

リアルタイム番組解析

録画しながら、番組の本編とそれ以外の場面を解析します。

リアルタイム解析

[ON] にすると、録画した番組でスキップ再生とスキップ書き出しが利用できます。お使いのパソコンの性能によっては、視聴中にコマ落ちする場合などがありますが、録画には影響ありません。

※ 番組によっては、本編と本編以外の解析が正常に行われない場合があります。

※ 設定を変更した場合、すでに登録している録画予約にも適用されます。

スキップ再生 P.37

スキップ書き出し P.49

パソコン持ち出し再生

録画する番組をチューナー未接続で利用するかどうか設定します。

パソコン持ち出し再生

録画する番組をチューナー未接続で再生する場合は「する」を選択してください。ただし、パソコン持ち出し再生を「する」にして録画した番組は、残りコピー回数が 1 回の時は録画番組の書き出しができません。

番組自動削除

おまかせ予約で自動的に録画された番組を削除する条件を設定します。

録画件数

おまかせ予約で録画された番組が、指定した件数を超える場合に、古いものから順番に削除します。件数を指定しない場合は、[なし]を選んでください。

未視聴期間

録画後、指定した期間が過ぎると、おまかせ予約で録画した未視聴の番組のうち、古いものから順番に削除します。

※ 設定した条件が適用されるまでに時間がかかる場合があります。
※ 保護がかけられている番組には適用されません。

おまかせ予約 P.29

録画情報管理ツール

録画情報管理ツールを起動します。

※ 録画中、録画準備中、コンテンツの書き出し中などには起動できません。録画情報管理ツールを起動する前に、Xit は完全に終了します。

録画情報管理ツール P.50

データ放送設定

視聴地域

データ放送の地域設定です。データ放送の天気予報などは、ここで設定した地域にもとづいて表示されます。

郵便番号

お住まいの地域の郵便番号を入力します。

データ放送地域(県域コード)

お住まいの地域を選びます。

自動取得 / 双方向通信

データ放送の取得方法と双方向通信についての設定です。

データ放送自動取得

[ON] にすると、データ放送を含む番組の表示中に自動的にデータ放送を取得します。

※ 音声のみの番組やデータ放送のみの番組では、設定にかかわらず自動的に取得されます。

インターネット接続(双方向通信)

[ON] にすると、インターネット経由で情報を送信できるデータ放送(双方向通信)で、インターネットへの接続を常に許可します。

詳細設定

視聴制限

視聴年齢制限の設定です。

暗証番号設定

暗証番号を４桁の数字で設定します。

視聴年齢制限

視聴を制限する方の年齢を選びます。設定した年齢が番組の年齢制限よりも小さい場合、映像と音声の出力が停止され、暗証番号の入力を求められます。

通信

内部ネットワークなどに接続する場合の設定です。

プロキシ設定

プロキシサーバーのホスト名とポート番号を入力します。

配信

Xit の録画番組をホームネットワーク上の他の機器で再生したり、ワイヤレス書き出しを行うための設定です。［設定］をクリックして、「Digital MediaServer 設定ツール」で接続の設定を行います。

※ パソコンの共有設定もあわせて必要です。

ホームネットワークでの共有 P.39

動作履歴送信

動作履歴の情報送信に関する設定を行います。[ON] にすると情報送信が行われます。内容につきましては許諾表示の内容をご確認ください。送信される情報に、個人情報は含まれません。

※ インターネット接続が必要です。

スマートスピーカー連携

スマートスピーカー連携の設定方法については下記 URL を参照してください。

http://pixela.jp/voice_if

番組表設定

番組表自動取得

番組表の自動取得を設定します。

番組表自動取得

[ON]にすると、パソコンがスリープ／休止状態のときに、自動的に取得します。[OFF] の場合は、Xit を待機モードにしておくことで取得できます。

※ 番組表の取得中は、パソコンがスリープ／休止状態に移行しません。

次回取得予定

番組表自動取得が [ON] のときに、その取得予定日時が表示されます。

番組サムネイル設定

裏番組表や番組表に番組サムネイルを表示するかを選択します。

番組サムネイルの表示

[ON]にすると、インターネットに接続して、番組サムネイルを取得して表示します。

※ [ON] にしている場合は、番組サムネイルを取得するための通信が発生します。

※ [OFF] にしている場合、番組のジャンルに合わせた固定の画像を表示します。[OFF] の場合、番組サムネイル取得のための通信は発生しません。

お知らせ

放送メール

放送局からのお知らせを確認します。

※ 受信から 30 日以上経過したお知らせは、未読・既読にかかわらず自動的に削除されます。

CS ボード

CS デジタル放送の各局で取得した掲示板の情報を確認します。

受信機メッセージ

受信機からの情報を確認します。

情報

B-CAS カード

パソコンに挿入されている B-CAS カード情報が表示されます。B-CAS カードに問題がある場合は「カードの状態」を確認してください。

バージョン

Xit のバージョン情報が表示されます。

設定初期化

初期化

Xit を製品出荷時の状態に戻します。これまでに収集した情報はすべて消去されます。初期化後は、初回設定(P.12)の画面が表示されます。

※ 録画番組は削除されません。

困ったときは

トップへ

知りたい項目をクリックしてください。

設定初期化

- 初期化

テレビが映らない

- 地上デジタル放送が映らない
- 地上デジタル放送の一部のチャンネルが映らない
- 地上デジタル放送の映像が乱れる・コマ落ちする
- BS・CS デジタル放送が映らない
- BS・CS デジタル放送の映像が乱れる・コマ落ちする

録画できない

- 録画に失敗する
- 録画予約に失敗する

エラーメッセージが表示される

- エラーメッセージ一覧

テレビが映らない

地上デジタル放送が映らない

原因	対処
地上デジタル放送に対応したアンテナを使用していない	地上デジタル放送に対応した UHF アンテナを使用してください。
B-CAS カードが正しく挿入されていない	B-CAS カードが正しく挿入されていないと、デジタル放送を画面に表示できません。正しい方向で挿入してください。
ケーブルテレビの伝送方式が対応していない	ケーブルテレビで視聴する場合、ケーブルテレビの伝送方式が同一周波数パススルー方式または周波数変換パススルー方式の場合のみ視聴できます。 ※ 伝送方式については、ご契約のケーブルテレビ会社にお問い合わせください。
チャンネル設定と地域が合っていない	受信の地域を選ぶとき、実際にお住まいの地域よりも、隣接した地域を選んだほうが良い場合があります。隣接する地域を選んでチャンネルスキャンの設定（P.53）を行い、普段利用しているチャンネルにもっとも近い設定で使用してください。

地上デジタル放送の一部のチャンネルが映らない

原因	対処
電波が弱い	地域／チャンネルスキャンの設定（P.53）で受信レベルを確認してください。60 以上が正常に受信できている目安です。それ以下の場合は、アンテナの向きを調整してください。 なお、電波が強すぎる場合も受信レベルが下がる事があります。

地上デジタル放送の映像が乱れる・コマ落ちする

原因	対処
UHF アンテナの向きが違う	地上デジタル放送の送信塔を確認のうえ、アンテナの向きを調整してください。 ※ くわしくはアンテナ工事業者やお近くの電気店などにご相談ください。
電波が弱い	地域／チャンネルスキャンの設定（P.53）で受信レベルを確認してください。60 以上が正常に受信できている目安です。それ以下の場合は、アンテナの向きを調整してください。
アンテナケーブルまたはアンテナ変換ケーブルの接続がゆるい	アンテナケーブルまたはアンテナ変換ケーブルがしっかり接続されているか確認してください。また、アンテナケーブルは、ノイズの入りにくいネジ式 F 型コネクタで接続してください。
分配器によって電波が弱まっている	分配器を使用している場合は、分配器を外して壁面のアンテナ端子またはパソコンに直接接続してください。
他のアプリケーションが動作している	以下の場合、他のアプリケーションの動作で影響を受けることがあります。 • セキュリティソフトがウイルススキャンをしているとき • Windows Media Player（ウィンドウズメディアプレーヤー）などの他のアプリケーションが動作しているとき
パソコンの電源設定が適切でない	Xit を使用するときは、電源プランの設定を［バランス］または［高パフォーマンス］にしてください。それ以外の設定では、映像がコマ落ちすることがあります。 以下の手順で設定します。 1. スタート画面で［設定］をクリックします。 2. ［システム］をクリックします。 3. ［電源とスリープ］をクリックします。 4. ［電源の追加設定］をクリックします。 5. 設定を［バランス］または［高パフォーマンス］にします。

BS・CS デジタル放送が映らない

原因	対処
BS・CS デジタル放送に対応したアンテナを使用していない	BS・CS デジタル放送の視聴には専用のアンテナやブースター、ケーブルなどが必要です。 ※くわしくはアンテナ工事業者やお近くの電気店などにご相談ください。
アンテナに電源が供給されていない	BS・CS デジタル放送用アンテナをご自身で設置している場合、アンテナへの電源供給が必要です。 設定の[テレビ設定]－[チューナー / アンテナ]で[アンテナ電源(LNB 電源)設定]を[ON]にしてください。
有料放送の申し込みをしていない	有料放送を視聴するには別途申し込みが必要です。くわしくは各放送局にお問い合わせください。
B-CAS カードが正しく挿入されていない	B-CAS カードが正しく挿入されていないと、デジタル放送を画面に表示できません。正しい方向で挿入してください。

BS・CS デジタル放送の映像が乱れる・コマ落ちする

原因	対処
雨、強風などの悪天候の影響でアンテナが揺れたり、電波が弱くなっている	BS・CS デジタル放送は、雨、雪、雷雲などの悪天候により、衛星からの電波が弱まることがあります。この場合は、天候が回復するまでお待ちください。なお、悪天候時に録画した番組は正常に再生できない場合があります。
電波が弱い	地域／チャンネルスキャンの設定（P.53）で受信レベルを確認してください。60 以上が正常に受信できている目安です。それ以下の場合は、アンテナの向きを調整してください。
分配器によって電波が弱まっている	分配器を使用している場合は、分配器を外して壁面のアンテナ端子またはパソコンに直接接続してください。
他のアプリケーションが動作している	以下の場合、他のアプリケーションの動作で影響を受けることがあります。 • セキュリティソフトがウイルススキャンをしているとき • Windows Media Player（ウィンドウズメディアプレーヤー）などの他のアプリケーションが動作しているとき

録画できない

録画に失敗する

原因	対処
アプリケーションの仕様	アプリケーションの仕様により録画できない場合があります。くわしくは P.32 を参照してください。

録画予約に失敗する

原因	対処
アプリケーションの仕様	アプリケーションの仕様により予約できない場合があります。くわしくは P.32 を参照してください。
放送予定の変更により予約した番組の開始が遅れたため、次の予約が優先された	予約結果に以下のようなメッセージが表示されます。 「別の予約を優先したため予約を中止／中断しました。」 「予定されていた番組が放送されなかったため、録画を中止しました。」 ※予約後に番組編成が変更された場合、変更された日時に追従しない場合があります。
スポーツ番組の延長または雨天中止などにより予約番組の放送が中止された	予約結果に以下のようなメッセージが表示されます。 「予定されていた番組が放送されなかったため、録画を中止しました。」 ※予約後に番組編成が変更された場合、変更された日時に追従しない場合があります。
パソコンを強制終了していた	予約結果に以下のようなメッセージが表示されます。 「アプリケーション未起動のため録画を中止しました」 ※パソコンを終了した状態では、録画予約の実行ができません。パソコンを再度起動して、Xit を待機モードにしてください。
Xit が完全に終了している	タスクトレイの を右クリックして[終了する]にした場合、Xit が完全に終了するため、予約録画が実行されません。予約録画があるときは待機モード(P.15)にしておいてください。
予約開始時に Windows Update が行われていた	録画中に Windows Update が開始されると、録画が正常に行われないことがあります。録画と Windows Update の実行が重ならないようにしてください。 Windows Update の設定はスタート画面で [設定] をクリックして、[更新とセキュリティ] − [Windows Update] − [再起動のオプション] で行います。
パソコンの時刻設定が合っていない	パソコンの時刻が合っていないときは予約録画が正しく行われません。 時刻の設定は、デスクトップ画面で画面右下の時刻表示をクリックして、[日付と時刻の設定の変更 ...] から行います。
スリープ・休止状態からの復帰ができなかった	「スリープ解除タイマーの許可」を無効にしていると、スリープ・休止状態からの予約録画ができません。 「スリープ解除タイマーの許可」の設定はスタート画面で [設定] をクリックして、[システム] − [電源とスリープ] − [電源の追加設定] − [バランス] または [高パフォーマンス] の [プラン設定の変更] ー [詳細な電源設定の変更] ー [スリープ] で行います。

エラーメッセージが表示される

エラーメッセージ一覧

原因	対処
放送チャンネルではないため、視聴できません。コード：E200	別のチャンネルを選んで視聴してください。
この受信機ではこのチャンネルは受信できません。コード：E210	別のチャンネルを選んで視聴してください。
受信レベルが低下しています。悪天候による受信不良、またはアンテナ線の接続状態に問題がある可能性があります。コード：E201	悪天候でアンテナの受信レベルが低下しているときに表示されます。天候に問題がないときに表示される場合は、アンテナの接続が正しくないおそれがあります。接続を確認してください。
信号が受信できません。悪天候による受信不良、またはアンテナ線の接続状態に問題がある可能性があります。コード：E202	悪天候でアンテナの受信レベルが低下しているときに表示されます。天候に問題がないときに表示される場合は、アンテナの接続が正しくないおそれがあります。接続を確認してください。
このチャンネルは存在しません。コード：E204	存在しないチャンネルに切り換えたときに表示されます。チャンネル番号が間違っていないか確認してください。
現在放送されていません。コード：E203	放送されていないチャンネルのため視聴できません。
センターに接続できませんでした。電話回線またはインターネット接続をご確認ください。コード：E301	パソコンがインターネットに接続されているか確認してください。
通信ができませんでした。 電話回線またはインターネット接続をご確認ください。	パソコンがインターネットに接続されているか確認してください。
B-CAS カードを正しく装着してください。	正しい方向で B-CAS カードを挿入してください。
年齢制限設定がありません。	視聴年齢制限が未設定の場合に、年齢制限のある番組を視聴しようとすると表示されます。必要に応じて、視聴年齢制限の設定を行ってください(P.20)。

原因	対処
保存先ドライブの HDD 容量が不足しているため、録画を中止 / 中断しました。	録画開始時または録画中に保存先ドライブの容量が 5GB 以下になったときに表示されます。録画済みの番組を削除するなどして、保存先ドライブの空き容量を確保するか、新しいドライブを保存先に追加してください(P.55)。
ディスプレイやその他の使用機器が非対応、またはそれらの設定や接続に問題があるため映像・音声の出力を停止しました。映像デバイスを確認してください。	[はい] をクリックしてメッセージを消してください。Xit の動作が停止したときは、Xit を終了して、パソコンを再起動してください。
使用中の録画番組が含まれているため書き出せません。	書き出そうとしている番組が録画中または再生中です。録画が終了するまで待ったり、再生を停止したりしてから書き出してください。
削除された録画番組が含まれているため書き出せません。	書き出そうとしている番組がありません。書き出す番組の候補から外してください。
録画番組が配信中のため書き出せません。 または 配信中の録画番組が含まれているため書き出せません。	書き出そうとしている録画番組がホームネットワーク上の他の機器で再生されています。他の機器での再生を停止してください。
書き出しのサポート期限が切れているため書き出せません。サポートページを確認して更新してください。	暗号化されたデータを読み取るために必要な暗号鍵の有効期限が切れています。表示されるサポートページの案内にしたがってください。

ライセンス

トップへ

LICENSE ISSUES

The OpenSSL toolkit stays under a dual license, i.e. both the conditions of the OpenSSL License and the original SSLeay license apply to the toolkit. See below for the actual license texts. Actually both licenses are BSD-style Open Source licenses. In case of any license issues related to OpenSSL please contact openssl-core@openssl.org.

OpenSSL License

Copyright (c) 1998-2011 The OpenSSL Project. All rights reserved.

Redistribution and use in source and binary forms, with or without modification, are permitted provided that the following conditions are met:

1. Redistributions of source code must retain the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer.

2. Redistributions in binary form must reproduce the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer in the documentation and/or other materials provided with the distribution.

3. All advertising materials mentioning features or use of this software must display the following acknowledgment: "This product includes software developed by the OpenSSL Project for use in the OpenSSL Toolkit. (http://www.openssl.org/)"

4. The names "OpenSSL Toolkit" and "OpenSSL Project" must not be used to endorse or promote products derived from this software without prior written permission. For written permission, please contact openssl-core@openssl.org.

5. Products derived from this software may not be called "OpenSSL" nor may "OpenSSL" appear in their names without prior written permission of the OpenSSL Project.

6. Redistributions of any form whatsoever must retain the following acknowledgment: This product includes software developed by the OpenSSL Project for use in the OpenSSL Toolkit (http://www.openssl.org/)"

THIS SOFTWARE IS PROVIDED BY THE OpenSSL PROJECT ``AS IS'' AND ANY EXPRESSED OR IMPLIED WARRANTIES, INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, THE IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE ARE DISCLAIMED. IN NO EVENT SHALL THE OpenSSL PROJECT OR ITS CONTRIBUTORS BE LIABLE FOR ANY DIRECT, INDIRECT, INCIDENTAL, SPECIAL, EXEMPLARY, OR CONSEQUENTIAL DAMAGES (INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, PROCUREMENT OF SUBSTITUTE GOODS OR SERVICES; LOSS OF USE, DATA, OR PROFITS; OR BUSINESS INTERRUPTION) HOWEVER CAUSED AND ON ANY THEORY OF LIABILITY, WHETHER IN CONTRACT, STRICT LIABILITY, OR TORT (INCLUDING NEGLIGENCE OR OTHERWISE) ARISING IN ANY WAY OUT OF THE USE OF THIS SOFTWARE, EVEN IF ADVISED OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGE.

This product includes cryptographic software written by Eric Young (eay@cryptsoft.com). This product includes software written by Tim Hudson (tjh@cryptsoft.com).

Original SSLeay License

Copyright (C) 1995-1998 Eric Young (eay@cryptsoft.com) All rights reserved.

This package is an SSL implementation written by Eric Young (eay@cryptsoft.com). The implementation was written so as to conform with Netscapes SSL.

This library is free for commercial and non-commercial use as long as the following conditions are aheared to. The following conditions apply to all code found in this distribution, be it the RC4, RSA, lhash, DES, etc., code; not just the SSL code. The SSL documentation included with this distribution is covered by the same copyright terms except that the holder is Tim Hudson (tjh@cryptsoft.com).

Copyright remains Eric Young's, and as such any Copyright notices in the code are not to be removed. If this package is used in a product, Eric Young should be given attribution as the author of the parts of the library used. This can be in the form of a textual message at program startup or in documentation (online or textual) provided with the package.

Redistribution and use in source and binary forms, with or without modification, are permitted provided that the following conditions are met:

1. Redistributions of source code must retain the copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer.

2. Redistributions in binary form must reproduce the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer in the documentation and/or other materials provided with the distribution.

3. All advertising materials mentioning features or use of this software must display the following acknowledgement: "This product includes cryptographic software written by Eric Young (eay@cryptsoft.com)"

The word 'cryptographic' can be left out if the rouines from the library being used are not cryptographic related :-).

4. If you include any Windows specific code (or a derivative thereof) from the apps directory (application code) you must include an acknowledgement: "This product includes software written by Tim Hudson (tjh@cryptsoft.com)"

THIS SOFTWARE IS PROVIDED BY ERIC YOUNG ``AS IS'' AND ANY EXPRESS OR IMPLIED WARRANTIES, INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, THE IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE ARE DISCLAIMED. IN NO EVENT SHALL THE AUTHOR OR CONTRIBUTORS BE LIABLE FOR ANY DIRECT, INDIRECT, INCIDENTAL, SPECIAL, EXEMPLARY, OR CONSEQUENTIAL DAMAGES (INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, PROCUREMENT OF SUBSTITUTE GOODS OR SERVICES; LOSS OF USE, DATA, OR PROFITS; OR BUSINESS INTERRUPTION)

HOWEVER CAUSED AND ON ANY THEORY OF LIABILITY, WHETHER IN CONTRACT, STRICT LIABILITY, OR TORT (INCLUDING NEGLIGENCE OR OTHERWISE) ARISING IN ANY WAY OUT OF THE USE OF THIS SOFTWARE, EVEN IF ADVISED OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGE.

The licence and distribution terms for any publically available version or derivative of this code cannot be changed. i.e. this code cannot simply be copied and put under another distribution licence [including the GNU Public Licence.]

The FreeType Project LICENSE

2006-Jan-27

Copyright 1996-2002, 2006 by

David Turner, Robert Wilhelm, and Werner Lemberg

Introduction

The FreeType Project is distributed in several archive packages; some of them may contain, in addition to the FreeType font engine, various tools and contributions which rely on, or relate to, the FreeType Project.

This license applies to all files found in such packages, and which do not fall under their own explicit license. The license affects thus the FreeType font engine, the test programs, documentation and makefiles, at the very least.

This license was inspired by the BSD, Artistic, and IJG (Independent JPEG Group) licenses, which all encourage inclusion and use of free software in commercial and freeware products alike. As a consequence, its main points are that:

- We don't promise that this software works. However, we will be interested in any kind of bug reports. (`as is' distribution)
- You can use this software for whatever you want, in parts or full form, without having to pay us. (`royalty-free' usage)
- You may not pretend that you wrote this software. If you use it, or only parts of it, in a program, you must acknowledge somewhere in your documentation that you have used the FreeType code. (`credits')

We specifically permit and encourage the inclusion of this software, with or without modifications, in commercial products. We disclaim all warranties covering The FreeType Project and assume no liability related to The FreeType Project.

Finally, many people asked us for a preferred form for a credit/disclaimer to use in compliance with this license. We thus encourage you to use the following text:

==========

Portions of this software are copyright (C) <year> The FreeType Project (www.freetype.org). All rights reserved.

==========

Please replace <year> with the value from the FreeType version you actually use.

Legal Terms

0. Definitions

Throughout this license, the terms `package', `FreeType Project', and `FreeType archive' refer to the set of files originally distributed by the authors (David Turner, Robert Wilhelm, and Werner Lemberg) as the `FreeType Project', be they named as alpha, beta or final release.

`You' refers to the licensee, or person using the project, where `using' is a generic term including compiling the project's source code as well as linking it to form a `program' or `executable'. This program is referred to as `a program using the FreeType engine'.

This license applies to all files distributed in the original FreeType Project, including all source code, binaries and documentation, unless otherwise stated in the file in its original, unmodified form as distributed in the original archive. If you are unsure whether or not a particular file is covered by this license, you must contact us to verify this.

The FreeType Project is copyright (C) 1996-2000 by David Turner, Robert Wilhelm, and Werner Lemberg. All rights reserved except as specified below.

1. No Warranty

THE FREETYPE PROJECT IS PROVIDED `AS IS' WITHOUT WARRANTY OF ANY KIND, EITHER EXPRESS OR IMPLIED, INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE. IN NO EVENT WILL ANY OF THE AUTHORS OR COPYRIGHT HOLDERS BE LIABLE FOR ANY DAMAGES CAUSED BY THE USE OR THE INABILITY TO USE, OF THE FREETYPE PROJECT.

2. Redistribution

This license grants a worldwide, royalty-free, perpetual and irrevocable right and license to use, execute, perform, compile, display, copy, create derivative works of, distribute and sublicense the FreeType Project (in both source and object code forms) and derivative works thereof for any purpose; and to authorize others to exercise some or all of the rights granted herein, subject to the following conditions:

- Redistribution of source code must retain this license file (`FTL.TXT') unaltered; any additions, deletions or changes to the original files must be clearly indicated in accompanying documentation. The copyright notices of the unaltered, original files must be preserved in all copies of source files.
- Redistribution in binary form must provide a disclaimer that states that the software is based in part of the work of the FreeType Team, in the distribution documentation. We also encourage you to put an URL to the FreeType web page in your documentation, though this isn't mandatory.

These conditions apply to any software derived from or based on the FreeType Project, not just the unmodified files. If you use our work, you must acknowledge us. However, no fee need be paid to us.

3. Advertising

Neither the FreeType authors and contributors nor you shall use the name of the other for commercial, advertising, or promotional purposes without specific prior written permission.

We suggest, but do not require, that you use one or more of the following phrases to refer to this software in your documentation or advertising materials: `FreeType Project', `FreeType Engine', `FreeType library', or `FreeType Distribution'.

As you have not signed this license, you are not required to accept it. However, as the FreeType Project is

copyrighted material, only this license, or another one contracted with the authors, grants you the right to use, distribute, and modify it. Therefore, by using, distributing, or modifying the FreeType Project, you indicate that you understand and accept all the terms of this license.

4. Contacts

There are two mailing lists related to FreeType:

freetype@nongnu.org
Discusses general use and applications of FreeType, as well as future and wanted additions to the library and distribution. If you are looking for support, start in this list if you haven't found anything to help you in the documentation.

freetype-devel@nongnu.org
Discusses bugs, as well as engine internals, design issues, specific licenses, porting, etc.

Our home page can be found at
http://www.freetype.org

Libjpeg

The authors make NO WARRANTY or representation, either express or implied, with respect to this software, its quality, accuracy, merchantability, or fitness for a particular purpose. This software is provided "AS IS", and you, its user, assume the entire risk as to its quality and accuracy.

This software is copyright (C) 1991-1998, Thomas G. Lane. All Rights Reserved except as specified below.

Permission is hereby granted to use, copy, modify, and distribute this software (or portions thereof) for any purpose, without fee, subject to these conditions:

(1) If any part of the source code for this software is distributed, then this README file must be included, with this copyright and no-warranty notice unaltered; and any additions, deletions, or changes to the original files must be clearly indicated in accompanying documentation.

(2) If only executable code is distributed, then the accompanying documentation must state that "this software is based in part on the work of the Independent JPEG Group".

(3) Permission for use of this software is granted only if the user accepts full responsibility for any undesirable consequences; the authors accept NO LIABILITY for damages of any kind.

These conditions apply to any software derived from or based on the IJG code, not just to the unmodified library. If you use our work, you ought to acknowledge us.

Permission is NOT granted for the use of any IJG author's name or company name in advertising or publicity relating to this software or products derived from it. This software may be referred to only as "the Independent JPEG Group's software".

We specifically permit and encourage the use of this software as the basis of commercial products, provided that all warranty or liability claims are assumed by the product vendor.

ansi2knr.c is included in this distribution by permission of L. Peter Deutsch, sole proprietor of its copyright holder, Aladdin Enterprises of Menlo Park, CA. ansi2knr.c is NOT covered by the above copyright and conditions, but instead by the usual distribution terms of the Free Software Foundation; principally, that you must include source code if you redistribute it. (See the file ansi2knr.c for full details.) However, since ansi2knr.c is not needed as part of any program generated from the IJG code, this does not limit you more than the foregoing paragraphs do.

The Unix configuration script "configure" was produced with GNU Autoconf. It is copyright by the Free Software Foundation but is freely distributable. The same holds for its supporting scripts (config.guess, config.sub, ltconfig, ltmain.sh). Another support script, install-sh, is copyright by M.I.T. but is also freely distributable.

It appears that the arithmetic coding option of the JPEG spec is covered by patents owned by IBM, AT&T, and Mitsubishi. Hence arithmetic coding cannot legally be used without obtaining one or more licenses. For this reason, support for arithmetic coding has been removed from the free JPEG software. (Since arithmetic coding provides only a marginal gain over the unpatented Huffman mode, it is unlikely that very many implementations will support it.) So far as we are aware, there are no patent restrictions on the remaining code.

The IJG distribution formerly included code to read and write GIF files. To avoid entanglement with the Unisys LZW patent, GIF reading support has been removed altogether, and the GIF writer has been simplified to produce "uncompressed GIFs". This technique does not use the LZW algorithm; the resulting GIF files are larger than usual, but are readable by all standard GIF decoders.

We are required to state that

"The Graphics Interchange Format(c) is the Copyright property of CompuServe Incorporated. GIF(sm) is a Service Mark property of CompuServe Incorporated."

ライセンス

トップへ

本製品における MPEG-4 ライセンスについて

本製品は、MPEG-4 ビジュアル規格特許ライセンスを管理する MPEG LA LLC から弊社が製造・販売のライセンス許諾を得て提供しているものです。MPEG-4 ビジュアル規格に準拠した態様で、本製品を個人が無償で使用することは、前記ライセンス許諾の範囲内であり許可されています。上記以外の使用については許可されておりません。